

学会誌モニタ募集のお知らせ

学会誌“情報処理”をより良くするために編集関係者一同努力を続けておりますが、学会誌についての会員の方々の評価や希望を知って今後の改善に役立てるために、このたびモニタ制度を発足させることになりました。関心のある方はぜひふるってご応募ください。

1) 応募の資格

- ・正会員、学生会員で、かつ下記の役割を積極的に果たしていただける方。

2) モニタの役割

- ・学会の指定する形式（本ページうらのアンケート用紙の形式に準ずる）の簡単な報告書を毎月提出する。
 - 学会誌の記事に対する感想、意見
 - 学会誌で取りあげるべきテーマの提案
 - その他学会誌に対する全般的な意見や提案等

注) 学会誌の記事をすべて読むようなことはかならずしも必要ありません。自分の立場や問題意識、得意とする分野等を基準とした“独断と偏見”による自由な意見を求めます。

3) 期 間

- ・平成5年4月から1年間
制度として継続したいと考えており、毎年公募します。
モニタの再任についての制約はありませんが、特定の人に長期間お願いするよりできるだけ多数の方にお願いをしたいと思います。

4) 謝 礼

- ・年間1万円相当の図書券を差しあげます。

5) 募集人員

- ・20名。応募者多数の場合は学会誌編集委員会で決定させていただきます。

6) 応募しめきり

- ・2月末までに下記あてにご連絡ください（郵便またはFAX、形式自由）。
氏名、連絡先（住所、電話、FAX）、所属機関、得意とする分野（特にあれば）、等を記入してください。

連 絡 先

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F (社)情報処理学会 学会誌編集係
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

宛 先: FAX 03 (5322) 3534 (本用紙を含む送信枚数 枚)

住 所 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 階

情報処理学会 学会誌編集係 御中

発信者: (芳名) _____ (会員番号) _____

(ご所属) _____ (電話番号) _____

〔1〕 学会誌の改善についてのご意見やご提案がありましたら自由にお書きください。

「編集室」に掲載することがあります。その場合 ☐実名可, ☐匿名希望, ☐掲載不可

〔2〕 今月号(1993年2月号)の記事の中であなたが読まれた記事及び今月号全般についてのあなたの評価をご記入ください。

*評価は次の5段階でご記入ください。

5. 非常に良い 4. 良い 3. 普通/なんともいえない 2. 悪い 1. 非常に悪い
0. 関心がないので読まない

特別論説

「情報処理最前線」

マイクロプロセッサの発展と将来.....

特集「数論アルゴリズムとその応用」

1. 数論アルゴリズムの研究動向.....
2. 素数判定アルゴリズム.....
3. 素因数分解と離散対数問題アルゴリズム.....
4. 有限体上のアルゴリズムと多倍長・剰余演算の高速演算法.....
5. 代数幾何学的アルゴリズム.....
6. 符号理論への応用—代数幾何符号の復号アルゴリズム—.....
7. 暗号理論への応用.....

解 説

最近の Lisp 言語.....

IC カードの交通分野への応用.....

エキスパートシステムの諸事例-IX シミュレーションモデルを

ベースにした知的教育訓練システム.....

講 座

計算機の記憶システム-IV マルチプロセッサの記憶システム(2).....

キー検索技法-IV トライとその応用.....

1993年2月号全般についての評価.....

評 価		
総 合	分 り 易 さ	内 容
★	★	★
★	★	★
★	★	★
★	★	★
★	★	★

平成5
研究発
第4
第9
第8
第1
第1
第9
第1
第6
第4
第3
第8
第9
第1
第
第
平成
研究
情報
「チ
奨励
「マ
「連
「学
一般
ISAI
平成
新年
論文
購誌
事務
支部
本会
会
教
雑
役

会 告 目 次

平成 5 年度役員選挙について	2
研究発表会開催通知	5
第 47 回 ヒューマンインタフェース研究会	5
第 91 回 ソフトウェア工学研究会	7
第 87 回 人工知能研究会	7
第 17 回 人文科学とコンピュータ研究会	8
第 11 回 プログラミング—言語・基礎・実践—研究会	8
第 91 回 計算機アーキテクチャ研究会	9
第 10 回 情報メディア研究会	11
第 66 回 設計自動化研究会	11
第 43 回 情報システム研究会	12
第 32 回 アルゴリズム研究会	12
第 82 回 コンピュータビジョン研究会	13
第 94 回 自然言語処理研究会	14
第 58 回 オペレーティング・システム研究会	15
第 70 回 記号処理研究会	15
第 92 回 データベースシステム研究会	15
第 45 回 数値解析研究会	16
平成 5 年度研究会のお知らせ	19
研究発表会開催予定 (1993 年 4 月～1994 年 3 月)	21
情報処理学会第 46 回全国大会 (平成 5 年前期) 参加について	26
「チュートリアル・セッション」開催について	27
奨励賞候補の推薦について	29
「マルチメディア通信と分散処理」ワークショップ開催について	30
「連続セミナ '92」の参加について	33
「学会誌特集セミナ：ファジィ理論と情報処理」開催について	35
一般情報教育公開シンポジウムのお知らせ	37
ISADS 93—CALL FOR PAPERS	38
平成 5 年度会費および論文誌購読費の納入について	42
新年度にあたって (お願い)	42
論文誌のご購読について	43
購読員登録料の改定のお知らせ	44
事務局との e-mail 試行開始のお知らせ	45
支部だより	46
本会協賛等の行事案内	46
会 議 案 内	47
教 官 募 集	48
雑 報	49
役 員 名 簿	50

平成 5 年度 役員選挙について

本会定款第 20 条にもとづき、来る 5 月 19 日（水）開催の第 35 回通常総会をもって本会役員の半数が退任します。平成 5 年度の役員選挙は、2 月初旬に別途送付しました投票用紙（往復はがき）により行いますので、正会員各位は下記の要領により、同投票用紙にてもれなく投票をお願いいたします。
 投票用紙記載の候補者は、有権者の参考にとつて、本会理事会が推薦したものです。これらの候補者の中から選定される場合は、下記の候補者名簿を参照のうえご投票ください。ただし、これらの候補者以外の会員（正会員に限る）を選定される場合は、それぞれの区分の空欄に氏名、所属をご記入ください。

記

1. 別送の投票用紙（返信はがき）の選定欄に○印をおつけください。
2. 会長、副会長は各 1 名の単記、理事は、教育分野では 2 名以内、製造分野では 3 名以内、利用他分野では 3 名以内の連記、監事は 1 名の単記とします。これをこえた場合は無効となりますので、ご注意ください。
3. 改選定数は、会長 1 名、副会長 1 名、理事 8 名、監事 1 名です。
4. 投票の締切は平成 5 年 3 月 5 日（金）の郵便消印があるものまで有効といたします。
5. 投票用紙（はがき）は料金受取人払いですから、切手を貼付する必要はありません。
6. 投票用紙記載の候補者は 50 音順です。
7. 1 月 20 日現在で本年度会費未納者には投票用紙は送付いたしません。

平成 5 年度 役員改選候補者名簿

（氏名は五十音順）

役職名	候補者氏名 (出身校学部 卒年)	勤務先および役職名 (平成 5 年 1 月現在)	略 歴・専 門 分 野 等
会 長	水野 幸男 (東工大28卒)	日本電気(株) 副社長	NEC にてコンピュータおよび OS の開発・研究に 25 年間従事。平成 4 年現職。元学会理事。日本コンピュータ・グラフィックス協会副会長。日本 OR 学会フェロー、ソフトウェアの品質管理について研究中。
副会長	平栗 俊男 (京大32卒)	富士通(株) 常務取締役	富士通にて一貫してコンピュータの開発に従事。平成 2 年現職。平成 2 ～ 4 年 OSI 推進会議会長として、OSI の国際的実用化を推進。平成 4 年英国情報産業への貢献により、シティ・リバー・カンパニー名誉会員。
理 教 育 分 事 野	雨宮 真人 (九大42卒)	九州大学 大学院総合理工学 研究科教授	NTT 通研にて自然言語、並列処理計算機の基礎研究に 19 年間従事。昭和 63 年現職。学会欧文誌編集委員・論文査読委員・論文賞選定委員・元研究会幹事。並列処理アーキテクチャ、AI アーキテクチャについて研究中。
	安西祐一郎 (慶大44卒)	慶応義塾大学 理工学部教授	慶大、CMU、北大にて人間の情報処理、ヒューマンインタフェース、人工知能研究に従事。昭和 63 年現職。元学会誌編集委員・30 周年国際会議プログラム委員・研究会主査。計測自動制御学会元理事・会誌編集委員長。
	田畑 孝一 (京大38卒)	図書館情報大学 図書館情報 学部教授	京大情報工学科助教授として音声、コンピュータネットワークの研究に従事。昭和 59 年現職。元学会誌・欧文誌編集委員。OSI-JIS 調査研究委員会委員長。並行 LISP、マルチメディア知識ベースを研究中。
	富田 眞治 (京大43卒)	京都大学 工学部教授	九大、京大にて 20 年間研究教育に従事。平成 3 年現職。学会国際委員・計算機アーキテクチャ研究会主査・論文誌編集委員・関西支部幹事。並列アーキテクチャを研究中。

役職名		候補者氏名 (出身校学部) 卒年	勤務先および役職名 (平成5年1月現在)	略 歴・専 門 分 野 等
理 製 造 分 野 事		久保 隆重 (京大40卒)	(株)日立製作所 システム開発研究所副所長	日立中央研究所、システム開発研究所にて大型コンピュータシステムの OS・アーキテクチャ・DA・システム高信頼化技術の研究開発に従事。平成2年より現職。情報システムとソフトウェア分野全般の研究開発を推進。
		田村 秀行 (京大45卒)	キャノン(株) 情報システム研究所知能工学研究部長	電総研にて、パターン大プロに参加。画像処理・認識の研究に従事。昭和51～52年カナダ NCR 客員研究員。昭和61年キャノン入社。学会論文査読委員・元 CV 研究会代表幹事。画像情報メディアの新展開に興味をもつ。
		福永 光一 (東大47卒)	日本アイ・ビー・エム(株) 東京基礎研究所コンピュータ・サイエンス・インスティテュート担当	三菱総合研究所にて各種システム開発、コンサルティングを経験。昭和58年日本 IBM 入社。ソフトウェア工学・知識工学・論理プログラミングの研究に従事。平成3年現職。学会国際委員・元学会誌編集委員。
		山本 昌弘 (阪大41卒)	日本電気(株) C&C システム研究所長	NEC 中央研究所にてコンピュータ、通信アーキテクチャの研究・開発に25年間従事。平成2年現職。学会国際会議委員・元学会誌編集委員。並列コンピュータ・B-ISDN・マルチメディア・人工知能について研究中。
		米田 英一 (東大34卒)	(株)東芝 システム・インテグレーション開発部長	技術計算分野でコンピュータ利用推進業務に17年間、コンピュータ開発に13年間従事。平成元年現職。元学会誌編集委員・30周年国際会議運営委員。システムインテグレーションの開発・企画推進中。
理 利 用 他 分 野 事		河岡 司 (阪大41卒)	日本電信電話(株) NTT 情報通信網研究所知識処理研究部長	NTT 通研にて、分散システムソフトウェアの研究・開発に25年間従事。平成2年現職。学会研究会幹事・主査・ICDCS'92 国内実行委員長。マルチメディア通信・人工知能・知識処理について研究中。
		樽松 明 (早大36卒)	(株)ATR 自動翻訳電話研究所 代表取締役社長	KDD 研究所にて、音声情報処理・パターン認識・端末システムの研究に25年間従事。昭和61年現職。元学会誌編集委員。人工知能学会評議員。自動翻訳電話の研究に情熱を注いでいる。
		榊 博史 (京大35卒)	KDD(株) 研究所 AI 応用グループ 主幹研究員	KDD 研究所にて、機械翻訳の研究に12年間従事。昭和63年現職。学会誌編集委員・SCI 専門委員会委員・元自然言語処理研究会幹事。元人工知能学会評議員。自然言語処理・文章要約アルゴリズムについて研究中。
		篠原 健 (阪大44卒)	(株)野村総合研究所 IT 研究センター・先端システム研究部長	証券総合オンライン・国際ネットワーク・衛星通信等の大規模情報通信システムの設計・開発に従事。平成元年より現職。ソフトウェアエンジニアリング・マルチメディア・知識ベース処理等の研究・開発を推進中。
		鈴枝 進 (都立大42卒)	鉄道情報システム(株) 中央システムセンター次長	国鉄にて、マルス、新幹線総合システム、データ交換等のオンライン・リアルタイム・システムの開発・運営に15年間従事。昭和62年国鉄民営分割後現職。JR の旅客販売総合システム「みどりの窓口」の開発・運営を統括。
		弓場 敏嗣 (神戸大39卒)	電子技術総合研究所 情報アーキテクチャ部長	野村総合研究所を経て、昭和42年電総研に入所。基本ソフトウェア・データ駆動型並列計算機などの研究に従事。元学会誌編集委員。筑波大学併任教授。超並列処理のモデル・アーキテクチャに興味を持つ。
監 事		黒川 恒雄 (京大28卒)	工学院大学 常務理事 学園統合情報システムセンター長	日本銀行の情報システム開発・整備にその当初から退職まで従事。平成元年より現職。情報処理国際連合 (IFIP) TC9 (情報社会問題)・TC11 (セキュリティ) 日本代表、学会国際委員・元学会理事。
		高橋 延匡 (早大32卒)	東京農工大学 工学部教授	日立中央研究所にて、システムプログラム、特に OS の研究・開発に20年間従事。昭和52年より15年余りにわたり、日本語情報処理、OS等の研究に従事。ここ数年間は、情報工学の分野のカリキュラムの調査研究に従事。

〔参考〕 平成 5 年度留任役員名簿

役 員 名	氏 名	勤 務 先
副 会 長	相 磯 秀 夫	慶 大
理 事	磯 崎 澄	NTT データ通信
理 事	稲 垣 康 善	名 大
理 事	齊 藤 忠 夫	東 大
理 事	土 居 範 勝	慶 大
理 事	箱 崎 明	N E C
理 事	八 賀 弘	鉄 道 総 研
理 事	林 和 磨	富 士 通
理 事	坂 永 伍 生	三 日 立
監 事	竹 下 亨	中 部 大

退任役員名簿

役 員 名	氏 名	勤 務 先
会 長	萩 原 宏	龍 谷 大
副 会 長	小 林 亮	N E C
理 事	大 野 洵 郎	東芝情報システム
理 事	齋 藤 信 男	慶 大
理 事	佐 藤 繁 城	富 士 通 研
理 事	鶴 保 征 城	N T C
理 事	勅使河原 可海	N E C
理 事	春 名 公 一	日 立 大
理 事	松 下 温 一	慶 大
理 事	村 岡 洋 一	早 大
監 事	山 田 郁 夫	三 菱



研究発表会開催通知

(平成5年2月15日～3月31日)

研 究 会	日 時		会 場	備 考
グラフィクスとCAD	2月26日(金)	13:00～17:10	リコー(東京)	前号参照
ヒューマンインタフェース	3月1日(月) 3月2日(火)	10:30～17:10 9:00～17:00	北海学園大	下記参照
ソフトウェア工学	3月2日(火)	13:00～17:00	機械振興会館	同 上
人 工 知 能	3月4日(木)	9:40～17:00	同 上	同 上
人文科学とコンピュータ	3月5日(金)	10:00～16:50	鳴門教育大	同 上
プログラミング—言語・基礎・実践—	3月10日(水) 3月11日(木)	10:00～17:00 10:00～17:00	日本IBM	同 上
計 算 機 アーキテクチャ	3月11日(木) 3月12日(金)	13:30～20:30 9:00～17:30	KKR定山溪	同 上
情 報 メ デ ィ ア	3月12日(金)	10:00～17:00	機械振興会館	同 上
設 計 自 動 化	3月12日(金)	13:00～17:00	同 上	同 上
情 報 シ ス テ ム	3月16日(火)	10:00～17:00	日本ユニシス	同 上
ア ル ゴ リ ズ ム	3月18日(木)	9:00～17:15	九 大	同 上
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	3月18日(木)	9:30～17:30	機械振興会館	同 上
自 然 言 語 処 理	3月18日(木) 3月19日(金)	13:00～17:10 10:00～16:40	国立国語研	同 上
オペレーティング・システム	3月19日(金)	10:30～16:30	機械振興会館	同 上
記 号 処 理	3月19日(金)	13:00～17:00	NTT(武蔵野)	同 上
デ ー タ ベ ー ス シ ス テ ム	3月22日(月)	9:30～17:00	機械振興会館	同 上
数 値 解 析	3月22日(月)	13:30～17:00	統 数 研	同 上

◆第47回 ヒューマンインタフェース研究会 (発表件数: 20件)

(主査: 安西祐一郎, 幹事: 井関 治, 小川克彦, 廣瀬通孝)

日 時 平成5年3月1日(月) 10:30～17:10
3月2日(火) 9:00～17:00

会 場 北海学園大学 工学部

(札幌市中央区南26条西11丁目, JR: 札幌下車, 札幌市営バス: 真駒内線(南54), 藻岩線(南55), またはじょうつバス: 南27条下車(道路向い側), Tel. 011(841)1161)

議 題

3月1日(月) —10:30～12:15—

●インタフェース分析

司会: 山田尚勇(学情センター)

(1) ペン入力のパフォーマンスモデルに関する検討 小野 真(日本IBM)

〔概要〕 入力操作に外乱が加えられた時, また操作が複合化した時を中心としたペンの操作特性の検討。

(2) ネットワーク環境におけるユーザ操作記録の解析手法 来住伸子(津田塾大)

〔概要〕 Xウィンドウ上の GUI に対するユーザ操作の記録と, その差分生成による解析。

(3) 打鍵パターンを用いたウィンドウマネージャの設計と実現 赤池英夫, 角田博保(電通大)

〔概要〕 個人の特徴を反映した打鍵パターンを利用した, ウィンドウマネージャの改良。

—13: 20~17: 10—

●アクティブインタフェース

司会：小野 真（日本IBM）

- (4) パーソナルロボットとそのインタフェースについて

安西祐一郎（慶大）

〔概要〕 人間に対してアクティブなシステムとしてのパーソナルロボットのインタフェースの提案と実現。

- (5) パーソナルロボットのための音声対話インタフェース

開 一夫，佐藤倫太，安西祐一郎（慶大）

〔概要〕 状況を考慮して音声対話を行う小型汎用自律移動ロボットのためのインタフェースの検討。

●インタフェース設計

司会：角田博保（電通大）

- (6) 3次元図形編集用 GUI の設計方式

加藤昌央（松下電器），岡田晃市郎（シルクラボラトリ），小山隆正，三輪道雄（松下電器）

〔概要〕 3次元図形編集におけるユーザの操作手順に応じた，操作を体系化する GUI 設計方式の紹介。

- (7) AutoView：GUI プログラミングの知識を必要としない UI 構築ツール

吉山正治，佐藤武秀，増田英孝，笠原 宏（東京電機大）

〔概要〕 エンドユーザが有する知識で，GUI アプリケーションが作成可能な UI 構築ツール提案とその開発。

- (8) DEVO：GUI プレゼンテーション・フレームワーク

増田英孝，菊地 肇，笠原 宏（東京電機大）

〔概要〕 GUI 作成時だけでなく，AP 起動後に GUI 部品のレイアウト変更や装飾部品の変更等が可能な機能。

- (9) ニューラルネットモデルによる設計ガイドラインの検索

上野香里，小川克彦（NTT）

〔概要〕 問題に適したガイドラインをニューラルネットを利用して効率的に検索する方法の提案と評価。

3月2日（火）

— 9: 00~12: 10—

●情報検索と可視化

司会：来住伸子（津田塾大）

- (10) ハイパーメディアにおけるメディアナビゲーション

平田恭二，原 良憲（NEC）

〔概要〕 画像の類似度に基づくナビゲーション・曖昧検索とその大規模化対策。

- (11) 顔画像データ検索時の検索特性について

尾田政臣（ATR）

〔概要〕 概念形成時の文脈依存性を利用した顔画像検索システムについての人間の検索特性。

- (12) ファイル階層構造を例としたデータ可視化方法の考察

関由美子，広瀬 正（日立）

〔概要〕 3次元CGを利用した対話型インタフェースにおけるデータ可視化技術の検討。

●問題解決とコミュニケーション支援

司会：廣瀬 正（日立）

- (13) コミュニケーションの面白さ —シリトリはなぜ面白いのか

山本吉伸，開 一夫，松井孝雄，梅田 聡，安西祐一郎（慶大）

〔概要〕 被験者にシリトリプログラムと対戦させ，その結果からコミュニケーションの楽しさを考察。

- (14) 幾何の問題解決能力の学習過程における作図利用の変化

伊藤毅志，大西 昇，杉江 昇（名大）

〔概要〕 実際の中学生が問題解決能力を身につける過程を，作図利用を通して観察したデータを示し議論。

—13: 10~17: 00—

- (15) 個人毎の観点からのコミュニケーション状況の統合管理手法

山口孝雄，浜田正宏（松下電器），藤原直賀人（大阪市大）

〔概要〕 電子会議システムにおける非宣言的な情報を個人的な5W1Hの観点で管理する手法。

- (16) プロダクトを基にしたソフトウェア設計者会議の分析法

海谷治彦，佐伯元司（東工大）

〔概要〕 ソフトウェア設計の会議と仕様書をバグという観点から関係付け，その支援法を考察。

●情報作成と支援ツール

司会：井関 治（NEC）

- (17) 読み情報をもつ日本語エディタの作成と評価

畠山 勉，角田博保（電通大）

〔概要〕 Nepoch 1.1 に手を加えて作成したエディタの補完入力機能と逐次的探索機能の評価。

- (18) マルチメディア情報向けカード操作ツールの試作

大見嘉弘，塩見彰睦，河合和久（豊橋技科大），大岩 元（慶大）

〔概要〕 図形，画像，音声などの情報をカード操作に適した方法で扱うためのツールの開発。

- (19) カード操作を主体とする文書作成環境の実現

大山裕一，塩見彰睦，河合和久（豊橋技科大），大岩 元（慶大）

〔概要〕 KJ法をはじめとする，カード操作によって作られた図解を元に，文書作成を行う環境の実現。

- (20) HCP チャートエディタ PAN/HCP の評価実験

中神 明，塩見彰睦，竹田尚彦，河合和久（豊橋技科大），大岩 元（慶大）

〔概要〕 開発したツールを実際の詳細設計に用いて，その作業データからツールを評価。

◆第91回 ソフトウェア工学研究会

(発表件数: 6件)

(主査: 原田賢一, 幹事: 宇都宮公訓, 大槻 繁, 大時和仁)

日 時 平成5年3月2日(火) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室

〔東京都港区芝公園 3-5-8, 地下鉄: 日比谷線神谷町, 浅草線大門, 三田線御成門下車, または JR: 浜松町下車, バス: 渋谷—東京タワー線東京タワー, 渋谷—東京駅八重洲線虎ノ門5丁目下車, Tel. 03 (3434) 8211〕

議 題

(1) 相互依存関係に着目したソフトウェアプロセスモデルの一提案 小林 透, 桑名栄二, 石井一彦 (NTT)

〔概要〕 コーディネーション理論をソフトウェア協調開発に応用した視認性, 実行性に優れたモデルを提案する。

(2) 家電ソフトウェア設計支援システム —Visual CASE— 真田紀男, 角谷和俊, 今井良彦 (松下電器)

〔概要〕 家電製品用ソフトウェアのモデルを提案し, これに基づいた開発支援システムの開発を行った。

(3) 金融機器組み込みソフト向け CASE 清水洋子, 藤巻 昇, 小尾俊之, 岡安二郎, 玉木裕二 (東芝)

〔概要〕 ソフト自動合成のための仕様記述の枠組みおよび合成方式を提案し, その試行評価結果を述べる。

(4) ソフトウェア開発ドキュメントのレイアウト設計支援ツール 縄田毅史, 辻 誠治, 今井良彦 (松下電器)

〔概要〕 ソフトウェア開発ドキュメントの論理構成とレイアウトを視覚的に設計するツールについて述べる。

(5) UNIX ネットワーク上の並列プログラム処理系の作成

高宮広佳, 石黒 淳 (早大), 山田 剛 (サリオンシステムズリサーチ), 小原啓義 (早大)

〔概要〕 UNIX ネットワーク上で CSP の同期・通信機構を実現する種類のマネージャの作成を行った。

(6) 命令の実行に基づくソフトウェア信頼度生長モデル 野呂昌満 (南山大)

〔概要〕 命令の計数過程を基に SRGM を定義し, それを使ってソフトウェアの構造と信頼度の関係を議論する。

◆第87回 人工知能研究会

(発表件数: 12件)

(主査: 石塚 満, 幹事: 沼尾正行, 松原 仁, 吉田裕之)

日 時 平成5年3月4日(木) 9:40~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

議 題

●特集: 学習の応用

—9:40~12:10—

(1) RBR と CBR を統合したヘルプシステムの実現と評価 栗山 健, 寺野隆雄 (筑波大)

〔概要〕 ユーザの意図を推測するヘルプシステムを RBR・CBR 統合型の枠組で実現した実験と評価の報告

(2) 目的指向型類推を用いた新概念の獲得 工藤隆司, 寺野隆雄 (筑波大)

〔概要〕 Purpose Directed Analogy を新しい概念の獲得・創発に適用する手法とその応用例について述べる。

(3) 決定木学習によるデータ分類と派生語の抽出 小柴健史 (富士通)

〔概要〕 決定木学習アルゴリズムを用いてキーワードを抽出し, その派生語を利用したデータ分類法を提案する。

(4) 制限酵素とリガーゼによる DNA 組み換えの形式モデル Splicing system とその学習

高田裕志 (富士通)

〔概要〕 Splicing system の言語生成能力について知られている結果をまとめ, その学習方法を示す。

(5) 招待講演: 機械学習システムの動向と課題 山口高平 (静岡大)

〔概要〕 知識獲得ボトルネック解消の観点から, 機械学習システムの動向と課題を論じる。

—13:10~14:40—

(6) フレーム形式の知識ベースにおける単語概念の学習アルゴリズム

椎谷秀一, 小谷善行, 瀧口伸雄 (農工大)

〔概要〕 深層格構造における単語間の意味関係を基に, 単語の意味カテゴリを動的に構築する方法を述べる。

(7) 木パターン学習の自然言語知識獲得への応用 桜井成一郎, 原口 誠 (東工大), 奥村 学 (北陸先端大)

〔概要〕 木パターン学習による選言的な記述の学習を自然言語の知識獲得に応用する方法について述べる。

(8) 抽象化図式に基づく学習とその法的知識獲得への応用

桜井成一郎, 原口 誠 (東工大), 吉野 一 (明治学院大)

〔概要〕 抽象化図式に基づく学習により, 法的知識獲得を効率的に行う方法について述べる。

●一般発表

—15:00~17:00—

(9) 同型概念を用いた抽象化問題解決 山口智浩, 辻 三郎 (阪大)

〔概要〕 組合せ論の同型概念を用いた表現の抽象化と詳細化で単調性, 完全性の保証をハノイの塔問題で示す。

(10) EBL 効用問題の低コスト解決法とそのオンライン評価 山田誠二 (阪大)

〔概要〕 有効なマクロ集合を高速に見つけて効用問題を解決する方法を提案し, 実験的に評価する。

(11) 命題の抽象化に基づく発見的類推

石川 孝, 寺野隆雄 (筑波大)

〔概要〕 抽象化した命題を特殊化したある命題から別の特殊化命題への変換として発見的類推を定式化する。

(12) ブール関数の多項式時間学習アルゴリズム

月本 洋 (東芝)

〔概要〕 以前提案した論理の幾何学的モデルに基づく、重回帰分析による、ブール関数の学習アルゴリズム。

◆ 第17回 人文科学とコンピュータ研究会

(発表件数: 11件)

(主査: 杉田繁治, 幹事: 及川昭文, 小沢一雅, 洪 政国)

日 時 平成5年3月5日 (金) 10:00~16:50

会 場 鳴門教育大学 学校教育研究センター1階 多目的室

〔徳島県鳴門市鳴門町高島, JR: 鳴門下車, タクシー10分 (徳島空港から鳴門駅まではバスで約30分, タクシーで約20分). Tel. 0886 (87) 1311〕

議 題

—10:00~12:30—

(1) フランシス・ベーコンにおける情報処理の科学思想的考察

良峯徳和 (湘南国際女子短大), 小田淳一 (東京外国語大)

〔概要〕 ベーコンの帰納法を最初の体系的な情報処理論と捉えその方法の再現及び思想的前提の明確化を図る。

(2) 木版刷チベット文字辞書作成のための文字特徴抽出

秋山庸子, 川添良幸 (東北大), 小島正美 (東北工大), 木村正行 (北陸先端大)

〔概要〕 辞書作成のためのチベット文字の繋がり情報, 各文字の出現頻度などの特徴抽出。

(3) 電子化テキストと著作権

當山日出夫 (円満寺)

〔概要〕 既に著作権の無い古典作品の電子化テキスト公開・流通の諸問題。

(4) パソコンを利用した文化財写真資料の作成とその情報管理

田窪直規 (奈良国立博物館)

〔概要〕 奈良国立博物館の文化財写真資料の作成・整理へのパソコン利用に関して報告する。

(5) 「文化の森総合公園」におけるデータベースシステムの現状と展開

多田繁行 (徳島県立21世紀館), 吉原美恵子 (徳島県立近代美術館)

〔概要〕 文化の森総合公園におけるデータベースシステムの構築, 運用, 問題点, 今後の方向について考える。

—13:30~16:50—

(6) ロールプレイングゲームにおけるやる気の持続

中谷智司, 矢野米雄 (徳島大)

〔概要〕 RPGの面白さの要因を抽出し, RPGを構成する基本的要素の考察を行う。

(7) 磁気媒体・パソコン通信による全国的規模的教育情報収集の試み

井上常茂 (佐賀県立鹿島実業高), 板谷内勝, 吉岡亮衛 (国立教育研)

〔概要〕 全国の地方教育センターから磁気媒体等でデータ収集を行い, 教育情報データベースの更新を試みた。

(8) 授業ビデオ映像ライブラリによる教師の力量向上支援システム

木村捨雄, 今堀宏三, 益子典文 (鳴門教育大), 二見尚之 (湘南工科大)

〔概要〕 教師の授業における力量を向上させるための, 実践事例ベースシステムの中間報告を行う。

(9) 科学技術日本語読解支援システム (CATERS) の機能別評価に関する研究

山元啓史, 加納千恵子 (筑波大), 深田 淳 (名大), 畑佐一味 (パデュール大)

〔概要〕 外国人研究者のための日本語読解 CAIを開発したので, その評価を機能の観点から報告する。

(10) 遠隔共同学習におけるマルチメディアの利用

永野和男 (鳴門教育大), 原 克彦 (園田学園女子短大), 宇土正浩 (日本IBM)

〔概要〕 マルチメディア技術を利用することにより, 子供の遠隔共同学習を援助する要件について述べる。

(11) 人文科学におけるコンピュータ利用の動向

杉田繁治 (民博)

〔概要〕 研究会が発足して4年, その間の様々な発表を通して, この分野の研究動向を探る。

(12) デモンストレーション: 教師の学習者理解を支援する知的 CAI システム

(13) 見学: 鳴門教育大学学校教育研究センター

◆ 第11回 プログラミング言語・基礎・実践—研究会

(予定発表件数: 13件)

(主査: 安村通晃, 幹事: 久世和資, 萩谷昌己, 松岡 聡)

日 時 平成5年3月10日 (水) 10:00~17:00

11日 (木) 10:00~17:00

会 場 日本アイ・ビー・エム 東京基礎研究所 Kビル 5階

〔東京都千代田区三番町 5-19, 地下鉄 (半蔵門線): 半蔵門 (5番出口) 下車, 徒歩6分 (霞友会館南約100m). Tel. 03 (3288) 8439 (久世), または 03 (3288) 8437 (小野寺)〕

議 題 特集：並行・並列・分散処理

(1) 抽象領域上のモデル生成型定理証明器 (MGTP) を用いた MGTP の最適化コンパイラ

堀内謙二, 藤田 博 (三菱電機)

〔概要〕 問題の特性を MGTP で解析し, その問題に依存した最適な証明方式に問題をコンパイルする方式の提案.

(2) 協調型メタプログラミング言語 Frame Work 佐藤義則, 布川博士, 白鳥則郎, 野口正一 (東北大)

〔概要〕 自律分権協調概念に基づくメタプログラミング言語である Frame Work について述べる.

(3) データフロー解析に基づく関数型言語 Valid の並列化コンパイラ

高橋英一, 谷口倫一郎, 雨宮真人 (九大)

〔概要〕 関数型言語を密結合マシン上で並列実行するためのデータフロー解析に基づく実現手法を提案する.

(4) マルチスレッドを用いた項書換え系の並列処理系 石川 亮, 山本晋一郎, 酒井正彦, 阿草清滋 (名大)

〔概要〕 密結合型計算機におけるスレッドを用いた項書換え系の並列処理系について報告する.

(5) Persistent tree を用いる二分探索木の対話的視覚化

別所正隆, 今宮淳美 (山梨大)

〔概要〕 二分探索木操作を理解するための対話型システム: 操作履歴保持のためのデータ構造と履歴の管理

(6) 制約を用いるステートチャートエディタ

矢崎 孝, 今宮淳美 (山梨大)

〔概要〕 意味および図形制約を用いて応答システムの図的記述のステートチャートを対話的に編集するシステム.

(7) A Timed Process Calculus Based on Distributed Time

佐藤一郎, 所真理雄 (慶大)

〔概要〕 全域的時間を共有しないプロセスの協調計算のための形式系をプロセス代数に基づいて構築する.

(8) 不規則アクセスを伴うループの自動並列化コンパイラ技法

窪田昌史, 大野和彦, 三吉郁夫, 森眞一郎, 中島 浩, 富田眞治 (京大)

〔概要〕 Inspector/Executor 戦略によるコード生成技法の高速化とその評価について報告する.

(9) 確率過程としての計算 —計算過程のマクロ・モデル

金田 泰 (新情報処理開発機構)

〔概要〕 複雑な計算過程を理解するための確率過程論にもとづくマクロ・モデルを検討し, 例を示す.

(10) オブジェクト指向分散環境 OZ++ の基本設計

濱崎陽一, 塚本享治 (電総研), 西岡利博, 新部 裕, 籠 浩昭, 西山 聡 (三菱総研)

音川英之 (シャープ), 吉屋英二 (富士ゼロックス), 鈴木敬行 (シャープ)

大西雅夫 (東洋情報システム), 平川秀忠 (日本ユニシス)

〔概要〕 オブジェクトの交換と共有を基本とした分散処理の基盤環境を目指す OZ++ の基本設計について

(11) 超並列計算機用 Fortran コンパイラの設計と試作

大谷浩司 (AXE), 小前 晋, 杉森英夫 (住友金属), 渦原 茂, 安村通晃 (慶大)

〔概要〕 超並列計算機 SM1 用の Fortran 90 コンパイラの言語仕様上の課題, 実装上の課題と解決策等.

(12) A New Theoretical Foundation of Constraint Logic Programs

赤間 清 (北大)

〔概要〕 一般化論理プログラムの理論を基礎にして制約論理プログラムを基礎づけ, 拡張する理論を与える.

(13) Actor と一般化論理プログラム

渡辺慎哉, 赤間 清, 宮本衛市 (北大)

〔概要〕 Actor モデルの枠組を一般化論理プログラムの立場から考察する.

*今回の研究会は電子情報通信学会(コンピュータ研究会, ソフトウェアサイエンス研究会)との共催で開催されます. 上記会告は, 1月5日現在の情報処理学会への申し込みによるもので, 上記期日以降の電子情報通信学会への申し込み分を含めた最終的なプログラムは電子情報通信学会誌2月号に掲載されますのでご了承ください.

◆第91回 計算機アーキテクチャ研究会

(発表件数: 20件)

(主査: 富田眞治, 幹事: 後藤厚宏, 村上和彰, 矢野陽一)

日 時 平成5年3月11日(木) 13:30~20:30

12日(金) 9:00~17:30

会 場 KKR 定山溪 青ラン荘 (国家公務員共済)

(札幌市南区定山溪温泉西 3-75, JR: 札幌下車, じょうてつバス(定山溪行): 定山溪大橋下車(約1時間), 徒歩2分. Tel. 011 (598) 2101)

議 題 1993年実時間処理に関するワークショップ(RTP '93), および一般

3月11日(木)

—13:30~17:30—

◆招待講演(プロジェクト紹介, シンポジウム報告等)

(1) TRON プロジェクトにおける実時間処理

坂村 健, 高田広章 (東大)

〔概要〕 TRON プロジェクトの現状と今後の展開について実時間処理を中心として紹介する.

(2) マルチメディア統合環境プロジェクトにおけるリアルタイム処理技術

徳田英幸 (慶大/CMU), 斎藤信男 (慶大)

〔概要〕 マルチメディア環境での実時間マイクロカーネル, 実時間プロトコルの重要性/問題点について述べる.

(3) マルチメディア統合環境のテストベッドとその評価

斎藤信男 (慶大), 徳田英幸 (慶大/CMU), 萩野達也, 追川修一 (慶大), 天明 崇 (日本IBM)

大町一彦 (日立), 和田英彦 (横河電機), 堀切和典 (富士ゼロックス), 平林真実 (リコー)

多田征司 (YHP), 藤井敬三 (コア), 矢崎昌朋 (富士通), 薄 隆, 田中浩一 (ソニー), 小野 諭 (NTT)

〔概要〕 マルチメディア環境の実時間用テストベッドの構築とその実験の評価を示す。

(4) ユーザレベルのプロセス管理はオペレーティングシステムを越えられるか? 白川洋充 (近畿大)

〔概要〕 表題の議論およびプログラミング言語レベルからプロセス管理を行う研究の海外の動向。

(5) The Second International Workshop on Responsive Computer Systems (RCS '92) の報告

角田良明, 菊野 亨 (阪大)

〔概要〕 1992年10月1日, 2日にKDD研究所で開催されたリソンプシステムに関する国際会議について報告。

(6) The 13th IEEE Real-Time Systems Symposium (RTSS '92) に参加して 戸田賢二 (電総研)

〔概要〕 1992年12月開催標記シンポジウムと Workshop on Imprecise and Approximate Computing について。

—18:00~20:30—

●ラウンドテーブルディスカッション (および懇親会)

3月12日 (金)

—9:00~10:30—

●OS・プログラミング支援

(7) リアルタイム・マルチスレッド・プログラミング支援ツールの開発

水沼一郎, 島川博光, 大西秀次, 竹垣盛一 (三菱電機)

〔概要〕 POSIX.4 上でのリアルタイム・アプリケーションの開発を支援するツールを開発した。

(8) Scheme におけるユーザレベルのスレッド管理方式

戸川敦之, 大久保英嗣, 大野 豊 (立命館大), 白川洋充 (近畿大)

〔概要〕 Scheme 言語から直接ユーザレベルでスレッドの管理を行うライブラリの実現法と処理型の実現手法。

(9) Real-Time Mach 3.0 の評価と改良

緒方正暢 (日本IBM), 人見 潔 (オムロン), 和田英彦 (横河電機)

追川修一 (慶大), 徳田英幸 (慶大/CMU)

〔概要〕 リアルタイム処理に関する性能評価実験を AT 互換機 (i486) 上で行い, 改良点を検討する。

—11:00~12:30—

●スケジューリング等

(10) スケジューリングポリシーの動的変更に関する研究

飯田浩二 (慶大)

〔概要〕 パーソナルロボット用 OSμ-PULSER 上での各種スケジューリング方式の比較とポリシーの動的変更。

(11) 分散リアルタイムシステム解析ツール ESCORT

神余浩夫 (三菱電機)

〔概要〕 分散RTシステムのスケジューラビリティ解析を目的としたイベントシミュレータについて述べる。

(12) リアルタイムマルチプロセッサシステムにおけるプロセッサ内同期とプロセッサ間同期

高田広章, 坂村 健 (東大)

〔概要〕 割込要求の監視を行いながらキューイングベースのスピンロックを行う方式の提案とその評価。

—13:30~14:30—

●ハードウェア

(13) 実時間並列処理計算機 CODA —プロセッサ—

西田健次, 戸田賢二, 島田俊夫, 山口喜教 (電総研)

〔概要〕 CODA プロセッサのパイプライン構成とスケジューリングサポートについて述べる。

(14) 実時間並列処理計算機 CODA —相互結合網—

戸田賢二, 西田健次, 島田俊夫, 山口喜教 (電総研)

〔概要〕 優先度制御機能を持つ CODA の相互結合網についてその機能および実現方式を紹介する。

—15:00~17:30—

●一般発表

(15) サービスインタラクションの解決のためのサービス仕様からのプロトコル仕様の合成

浅田宏幸, 五十嵐裕孝, 角田良明, 菊野 亨 (阪大)

〔概要〕 複数の通信サービス間で起こる動作競合であるサービスインタラクションを解決する方法を提案する。

(16) ソフトウェアとハードウェアのコヒーレンス制御を融合したキャッシュ・コヒーレンス制御

細見岳生, 森眞一郎, 中島 浩, 富田眞治 (京大)

〔概要〕 ソフトウェアとハードウェアのコヒーレンス制御を融合したキャッシュ・コヒーレンス制御について。

(17) ASURA の解析モデル

城 和貴 (クボタ)

〔概要〕 セミ・マルコフ過程を用いて ASURA のキャッシュ, ネットワークのモデル化, および性能評価を行う。

(18) An Overview of Asura's Network along with Simulation Results

David Fraser, Takashi Tanaka (クボタ)

〔概要〕 ASURA のインタ・クラスタ・ネットワークの概要とそのシミュレーション結果について述べる。

(19) 相互結合網におけるフロー制御方式の通信パターンに基づく性能評価

船越誠司, 久我守弘, 末吉敏則 (九工大)

〔概要〕 ハードウェア記述言語による相互結合網のモデル化と通信パターンを考慮したフロー制御方式の評価。

*今回の研究会は電子情報通信学会(コンピュータシステム研究会)との共催で開催されます。IEEE Computer Society Tokyo Chapter 協賛

◆ 第10回 情報メディア研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 相磯秀夫, 幹事: 石塚英男, 上林憲行, 田中 譲, 中川 透)

日 時 平成 5 年 3 月 12 日 (金) 10:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 研修2号室 (所在地は前記参照)

議 題 —10:00~12:00—

(1) 議論情報に対する構造化手法の一提案

増尾 剛, 桑名栄二 (NTT)

〔概要〕 議論構造記述手法である QOC に Hypermedia 技術を適用し, QOC の記述能力を拡張する手法を提案。

(2) フォーマッタ階層を媒介とした構造化文書とハイパーテキストの統合

林 浩一, 関田章文 (富士ゼロックス)

〔概要〕 ネットワーク型倫理構造に対して, 編集/割付けモデルを与え, プロトタイプシステムを試作した。

—13:00~17:00—

(3) DAT によるマルチリンガル動作可能なメディアシステム

一條 博, 田中正史 (ケンウッド), 島田一雄 (都立航空工業高専)

〔概要〕 静止画と複数の音響情報から任意の音を同期して再生可能な DAT を使用したシステムの試作。

◆ 小特集: エンタテインメントのトボス

(4) ビデオゲームの分類に基づくもしろさの考察

矢野米雄, 林 敏浩 (徳島大)

〔概要〕 ビデオゲームを形態や特徴に着目して, 8 種類に分類した。各々におけるおもしろさの特徴を考察する。

(5) 電子出版の趣味・娯楽 —エデュテインメントからインフォテインメントへ— 高橋真一 (紀伊國屋書店)

〔概要〕 情報メディア技術は学習や労働を趣味や娯楽へ変貌させる夢を彷彿させる。その動向と可能性を探る。

(6) 人工現実感を応用した「仮想生物システム」

伊藤 映, 藤田卓志, 西山聡一, 渡辺和之, 田口ひとみ, 福岡俊之 (富士通)

〔概要〕 自律的に行動する仮想生物と映像・音声・動作を用いて対話協調できるシステムについて述べる。

◆ 第66回 設計自動化研究会

(発表件数: 6 件)

(主査: 上田和宏, 幹事: 川戸信明, 河村匡彦, 佐藤政生)

日 時 平成 5 年 3 月 12 日 (金) 13:00~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室 (所在地は前記参照)

議 題

(1) アナログモジュールの自動レイアウト設計のための一手法

朝倉浩治, 廣井敦之, Imbaby I. Mahmoud, 栗島 亨, 大附辰夫 (早大)

〔概要〕 配置, 配線, コンパクションの3工程から成るアナログ回路を対象とした設計手法を提案し, 実装評価。

(2) LSI 電源・グラウンドネットに対する平面トポロジカル配線

田中 博, 栗島 亨, 佐藤政生, 大附辰夫 (早大)

〔概要〕 電氣的制約のもと, 占有面積最小化の意味で最適な電源配線トポロジーを求める配線手法を提案する。

(3) ロングラインに対応した階層的 FPGA 配線手法

戸川 望, 栗島 亨, 金子一哉, 佐藤政生, 大附辰夫 (早大)

〔概要〕 FPGA の配線構造を最大限活用することで高い配線率および遅延制御を実現した階層的配線手法の提案。

(4) AR分割法の改良とその評価

松下尚平, 高久 進, 高城弘朗, 上田和宏 (芝浦工大)

〔概要〕 吸引・反発力を用いたAR回路分割法の改良とともに, 他手法との比較実験結果について述べる。

(5) テンプレート化論理合成手法

遠藤 真, 高原 厚 (NTT)

〔概要〕 RTL 記述と合成回路の対応をテンプレート化した合成モデルとテンプレート記述形式について述べる。

(6) LSI 協調設計支援システムの概要

細田泰弘 (NTT)

〔概要〕 チームによる設計プロセスのモデル化と支援システムのフレームワーク上での実装について述べる。

◆ 第 43 回 情報システム研究会

(発表件数: 13件)

(主査: 上野 滋, 幹事: 高橋富夫, 槻木公一, 初瀬川茂)

日 時 平成 5 年 3 月 16 日 (火) 10: 00~17: 00

会 場 日本ユニシス (豊洲本社) 5 階 513 号室

〔東京都江東区豊洲 1-1-1, 地下鉄 (有楽町線): 豊洲 (1 番出口) 下車, 徒歩 10 分. Tel. 03 (5546) 5900 (平野, 玉上)〕

議 題 第 3 回 情報システム若手の会

今年度も最後の研究会を若手の会として企画しました。もちろん, 参加者の年齢制限などは一切ありませんが, 特に情報システムの開発, 研究, 教育に携わる若手の方々 (大学院生, 若手社員, 若手教育者など) の多数のご参加をお願いします。

● 研究発表

—10: 00~12: 05—

(1) AHP による対話型新車購入意思決定支援システム 小山 隆, 佐藤 敬 (東京工科大)

〔概要〕 ユーザの漠然とした嗜好を階層化意思決定法 AHP を用い, 対話型で明確化し写真情報と共に提示する。

(2) 利用者の参加を考慮したシステムの開発支援ツール 高 紀 (慶大)

〔概要〕 画面とその処理の流れに注目した利用者参加の可能な視覚的かつ誘導的な記述によるシステム開発方法。

(3) パターン・マッチング技術を応用した図書館システム 高橋久美, 山本毅雄 (情報大)

〔概要〕 図書の背表紙の画像のパターン・マッチングを応用した新しい図書館システムを提案する。

(4) データ融合による情報の確からしさの改善 松田季彦 (富士通特機システム), 川野喜一 (富士通)

〔概要〕 センサ情報の融合技法を, 観測対象の識別, 地域情報の分析などに適用した 2 つの試作事例の報告。

(5) 開発方法論 SSADM のオブジェクト指向モデルによる記述とその利用の構想

根本知幸, 山吉育子, 飯島 正, 浦 昭二 (慶大)

〔概要〕 分析/設計方法論 SSADM をプロダクト中心に記述し, 開発作業参加者の誘導や文書体系化に利用。

—13: 00~17: 00—

(6) 基調講演: 情報システムに関する研究の現状と動向 —第13回情報システム国際会議の報告—

神沼靖子 (帝京技科大)

(7) マルチメディア分散制御の視聴覚芸術への応用

桑木景子, 齊藤正彦, 金子文昭, 尾垣晴仁, 伊吹公夫 (東京工科大)

〔概要〕 計算機演奏とバレエの分散システムを例に約 100 名の被検者で実施した視聴覚認知心理学的実験と応用。

(8) ISDN 用マルチメディア通信システムとその応用 岡崎聖人, 後藤 洋 (NTT)

〔概要〕 パソコン用 ISDN 通信制御ボードの機能構成とこれを用いるマルチメディア通信サービスの実現方法。

(9) AI 技術を適用した時系列データによる売上予測

竹並輝之, 澤田晃三, 長野重美, 大澤正義, 高田 薫, 吉田 潤, 折原良平, 松本 茂 (東芝)

〔概要〕 小売業の時系列データを使い, 売上予測モデルを自動作成した実験例とその適用可能性についての報告。

(10) 基調講演: 米国流通業界における電子データ交換 (EDI) のインパクト 國領二郎 (NTT)

今津英世 (松下電器)

(11) UNIX 電子メールの配送先制御の方式

〔概要〕 標準の sendmail と DNS を用いつつメールアドレスの柔軟性を向上させる方式。

(12) ディレクトリサービスを利用した分散型文献管理システムの構築について

副島健一, 古川善吾, 最所圭三, 荒木啓二郎 (九大)

〔概要〕 利用者自身が各自の文献を管理することができる文献管理システムの概要について紹介する。

(13) 半導体輸出におけるグローバル需給販売管理システムの構築 鈴木英夫 (東芝)

〔概要〕 工場, 本社, 海外現法をスルーした需給販売システムにより生販一体化, 顧客サービス向上を達成。

● 自由討論 (参加者・研究会連絡委員)

◆ 第 32 回 アルゴリズム研究会

(発表件数: 13件)

(主査: 五十嵐善英, 幹事: 浅野哲夫, 白石洋一, 平田富夫)

日 時 平成 5 年 3 月 18 日 (木) 9: 00~17: 15

会 場 九州大学 工学部 情報工学科 2 号館 4 階 408 教室

〔福岡市東区箱崎 6-10-1, JR: 博多下車, 地下鉄: 中州川端 (乗り換え), 貝塚方面箱崎九大前下車, 徒歩 5 分 (博多駅からは 30~40 分). Tel. 092 (641) 1101〕

議 題 — 9: 00~12: 15—

(1) 平衡二分木を構成する並列アルゴリズム 岩下博一, 中嶋卓雄, 中村良三 (熊本大)

〔概要〕 任意のプロセッサで動作し, 動的に平衡二分木を構成する並列アルゴリズムを提案する。

- (2) 適応型データ圧縮アルゴリズムの設計と評価 小島俊輔, 中嶋卓雄, 中村良三 (熊北大)
〔概要〕 LZ 技法に基づく適応型データ圧縮アルゴリズムを提案し, 他の LZ 技法と比較し評価する.
- (3) Efficient Linearizable Implementation of FIFO Queues 井上美智子, 増澤利光, 都倉信樹 (阪大)
〔概要〕 分散システム上での, 仮想共有 FIFO キューのインプリメントに関する上界, 下界を示す.
- (4) Combinatorial Algorithms by Boolean Processing I 仙波一郎 (茨城大), 矢島脩三 (京大)
〔概要〕 基本的な組合せ問題を論理関数で表現し, 共有二分決定グラフで記述し高速に実行する方法を述べる.
- (5) Combinatorial Algorithms by Boolean Processing II 仙波一郎 (茨城大), 矢島脩三 (京大)
〔概要〕 種々の組合せ問題を論理関数で表現し, 共有二分決定グラフで記述し高速に実行する方法を述べる.
- (6) ストリング・パターン・マッチング・マシンにおける検索キー更新方法 津田和彦 (住友金属), 入口浩一, 青江順一 (徳島大)
〔概要〕 Aho らの提案した S. P. M. に対する検索キーの追加・削除方法を提案する.
- 13: 30~17: 15—
- (7) 多種計算機上での適応型アルゴリズム選択法 (AASM) 須崎有康, 栗田多喜夫, 田沼 均, 平野 聡 (電総研)
〔概要〕 SUN, CRAY, FACOM の計算機に AASM を実装し, 計算機特徴をとらえた動的最適化について発表.
- (8) A Linear-Time Algorithm for Centering a Spanning Tree of a Biconnected Graph 和田幸一, 川口喜三男 (名工大)
〔概要〕 2 連結グラフ G の任意の点 r が T の中心となる G の生成木 T を見つける線形時間のアルゴリズムを示す.
- (9) 総和演算の二分割による多倍長剰余乗算の高速アルゴリズム 高木直史 (京大)
〔概要〕 高速で使用記憶領域の少ない多倍長剰余乗算アルゴリズムを提案する.
- (10) アルゴリズム研究のための環境におけるアルゴリズムアニメーション 曾田忠之, 岩澤京子, 中森真理雄 (農工大)
〔概要〕 筆者らが開発中のアルゴリズム研究環境におけるアニメーションの役割について報告する.
- (11) 線形計画問題の定式化アルゴリズムのための教育システム 石嶺寿子, 毛利 渉, 岩澤京子, 中森真理雄 (農工大)
〔概要〕 問題を LP として記述し解く方法を教える試作システムの基本設計について報告する.
- (12) A Linear Algorithm for Edge-Coloring Partial k -Trees 周 暁, 中野眞一, 西関隆夫 (東北大)
〔概要〕 部分 k -木の彩色指数を求め, かつ具体的にその彩色を見つける線形時間アルゴリズムを与える.
- (13) CNF 論理式に対する局所探索法の評価 宮崎修一, 岩間一雄 (九大)
〔概要〕 CNF 論理式に対する局所探索法の各種例題集合に対する性能評価を試みる.

◆ 第 82 回 コンピュータビジョン研究会

(発表件数: 14 件)

(主査: 杉原厚吉, 幹事: 井宮 淳, 尺長 健, 長谷川純一)

日 時 平成 5 年 3 月 18 日 (木) 9: 30~17: 30
会 場 機械振興会館 6 階 65 号室 (所在地は前記参照)
議 題 — 9: 30~12: 00—

- (1) カメラ・キャリブレーション手法の最近の動向 出口光一郎 (東大)
- (2) カメラの焦点距離の最適キャリブレーションシステム 丸山 保, 金谷健一 (群馬大)
- (3) 線分を用いた既知構造単眼視姿勢推定問題の位相的可解性について 尺長 健 (NTT)
- (4) くりこみ法による 3 次元運動の解析 武田佐千男, 金谷健一 (群馬大)
- (5) 動画像からのモデルに基づく 3 次元物体の認識と運動の復元 北川英裕美, 佐藤嘉伸, 田村進一 (阪大)
- 13: 00~17: 30—
- (6) 時系列 MRI 画像を用いた力学的モデルに基づく心臓壁運動の解析 寺島幹雄, 佐藤嘉伸, 内藤博昭, 田村進一 (阪大)
- (7) 局所アスペクトテーブルによる定性的物体認識 楊 子豊, 佐藤嘉伸, 田村進一 (阪大)
- (8) 3 次元関節物体の認識についての検討 石川哲理, 大西 昇, 杉江 昇 (名大)
- (9) 熱画像と可視光画像のステレオ統合による時系列距離画像入力法の検討 大谷 淳, 岸野文郎 (ATR)
- (10) 幾何特徴の複合による距離画像への超二次元曲面のあてはめ 中野博仁, 大田友一 (筑波大)
- (11) 複雑度に基づいた線図形のセグメンテーション 青山 宏, 河越正弘 (電総研)
- (12) CIE 昼光に基づく複数枚のカラー画像からの照明色と物体色の復元 林 泰博, 大田友一 (筑波大)
- (13) 色彩情報を用いた絵画の筆触の抽出 菅野理子, 本多庸悟, 金子俊一 (農工大)
- (14) 自律型非同期超並列プロセッサ AMP における画像処理アプリケーションの記述と評価

◆ 第94回 自然言語処理研究会

(発表件数: 14件)

(主査: 野村浩郷, 幹事: 徳永健伸, 永井秀利, 林 良彦)

日 時 平成5年3月18日(木) 13:00~17:10

19日(金) 10:00~16:40

会 場 国立国語研究所 1号館 5階講堂

[東京都北区西が丘 3-9-14, 都営地下鉄(三田線): 板橋本町下車, 徒歩10分, Tel. 03 (3900) 3111]

議 題

3月18日(木)

(1) 記述的文章のコヒーレンス

西山英美, 古郡延治 (電通大)

[概要] 情報の伝達を目的とする文章のコヒーレンスについて, いくつかのテキストの分析例を示して考察する。

(2) 終助詞の関係意味論的考察

小野 晋, 西澤信一郎, 森 辰則, 中川裕志 (横浜国大)

[概要] 本稿では, 終助詞が主観述語に与える影響を検討し, 状況意味論を用いて定式化することを試みる。

(3) アイロニーのモデル化について

伊藤 昭, 滝澤 修 (通信総研)

[概要] アイロニーという言語現象の機能を対話モデルに基づいて分析し, 工学的処理の可能性を検討する。

(4) 発話対の認識手法 — 質問とその応答

高野敦子, 柏岡秀紀, 平井 誠, 北橋忠宏 (阪大)

[概要] 日常の推論過程に注目することにより一般的な発話対モデルを構築し, ロバストな発話認識を計る。

(5) 簡易日本語解析系 Q-JP

亀田雅之 (リコー)

[概要] 字種の特徴の利用と構文レベルの簡易な係り受け解析に基づく小規模辞書ベースの軽量の日本語解析系。

(6) カタカナ異表記の生成および統一手法

獅々堀正幹, 青江順一 (徳島大)

[概要] コンパクトなカタカナ辞書と2種類のカタカナルールを用いた変換処理により, 異表記生成を行う。

3月19日(金)

—10:00~12:00—

(7) 日本語文章推敲支援ツール『推敲』における助詞「は」と「が」の抽出について

下園幸一, 菅沼 明, 牛島和夫 (九大)

[概要] 文章推敲における助詞「は」「が」を指摘する意義を考え, 格助詞「が」を簡便に抽出する方法を考える。

(8) べた書き日本語文の脱落・挿入文字誤りの検出法

荒木哲郎 (福井大), 池原 悟 (NTT), 塚原信幸 (福井大)

[概要] マルコフ連鎖モデルを用いたべた書き日本語文の連続したn個の脱落・挿入誤りを検出する方法を示す。

(9) 2重マルコフ連鎖モデルを用いたべた書き日本語文の文節先頭位置推定法の評価

荒木哲郎 (福井大), 池原 悟 (NTT), 土橋潤也 (福井大)

[概要] べた書き日本語文(音節文, 漢字かな交り文)の文節切り方法を示し, 文節境界の学習効果を示す。

—13:10~16:40—

(10) 自然言語の解析による知識獲得と拡張 — 四文字漢字列をもちいて —

田中康仁 (愛知淑徳大)

[概要] 自然言語解析のために重要な知識データの収集の一つとして四文字漢字列の分解を述べる。

(11) 自然言語の解析による知識獲得と拡張 — 五文字漢字列をもちいて —

田中康仁 (愛知淑徳大)

[概要] 自然言語解析のために重要な知識データの収集の一つとして五文字漢字列の分解を述べる。

(12) 日本語分類語彙表からの韓国語分類語彙表の作成

黄 道三 (京大), 長尾 真 (京大), 佐藤理史 (北陸先端大)

[概要] 意味属性と分類番号との対応づけと構文・意味情報の類似性を用いて分類番号を与える方法を示す。

(13) 対訳コーパスを用いた専門用語対訳辞書の作成

山本由紀雄, 坂本 仁 (沖電気)

[概要] 計算機マニュアルテキストから専門用語とその訳語の自動抽出を行った結果について報告する。

(14) Structural Change in Translation between Japanese and English

John Phillips, Hiroshi Nakano (国語研)

[概要] The declarative representation of translation equivalences involving structural change.

*懇親会: 18日の研究会終了後に予定しております。

◆第58回 オペレーティング・システム研究会

(発表件数: 7 件)

(主査: 鈴木則久, 幹事: 清木 康, 清水謙多郎, 萩野達也)

日 時 平成5年3月19日(金) 10:30~16:30

会 場 機械振興会館 6階 65号室(所在地は前記参照)

議 題 —10:30~11:50—

- (1) 地球規模分散ファイルシステム向けのファイルキャッシュプロトコルの設計

弘田暢幸, 藤田 聡(広島大), 亀田恒彦(Simon Fraser 大), 山下雅史(広島大)

〔概要〕 遅延の大きな通信路で結ばれた LAN 間でファイルを共有するファイルキャッシュ機構を考える。

- (2) オブジェクト堆積モデルに基づくファイル・サーバの実現 荻部朋幸, 新城 靖, 清木 康(筑波大)

〔概要〕 外部コマンドと軽量プロセスを利用した高性能ファイル・サーバの実現について述べる。

—13:00~16:30—

- (3) 超並列システム用オペレーティングシステム「超流動OS」の構想

平野 聡, 田沼 均, 須崎有康, 浜崎陽一, 塚本亨治(電総研)

〔概要〕 情報を流動させることにより実行時間の短縮とスループットの向上を目指す超並列システム用OSの構想。

- (4) 超並列計算機のためのオペレーティングシステムの構想

斎藤信男, 徳田英幸, 萩野達也(慶大), 米澤明憲, 松岡 聡(東大), 多田好克, 砂原秀樹(電通大)

柴山悦哉(龍谷大), 篠田陽一(北陸先端大)

〔概要〕 複数の異なる要求を持つユーザ層をサポートすることのできる, 超並列OSの構想について述べる。

- (5) マイクロ・カーネル・アーキテクチャにおける I/O driver 実装方法に関する一考察

加藤意之, 乾 和志, 人見 潔(オムロン)

〔概要〕 Mach 3.0 の Ethernet driver を対象に複数の方式で実装を行った評価, 問題点, 改善案について。

- (6) 汎用オペレーティングシステムにおける性能解析評価のビジュアル化と自動化

谷 広太, 金澤正憲(京大)

〔概要〕 回線接続のパソコンで性能測定データをビジュアル化システムの構成, 機能, 適用事例について述べる。

- (7) OS/omicron における手書きコミュニケーションシステム

中島一彰, 早川栄一, 並木美太郎, 高橋延匡(農工大)

〔概要〕 表示一体型タブレットを用い文字以外の図・表, 手書き図形をコミュニケーションの要素とするシステム。

◆第70回 記号処理研究会

(発表件数: 5 件)

(主査: 竹内郁雄, 幹事: 天海良治, 多田好克, 湯浦克彦)

日 時 平成5年3月19日(金) 13:00~17:00

会 場 NTT 武蔵野研究センター 1号館 206B

〔東京都武蔵野市緑町 3-9-11, JR(中央線): 三鷹(北口)下車, 関東バス(1番乗場・北裏行): 武蔵野市役所下車, 徒歩5分, Tel. 0422(59)3668〕

議 題

- (1) 数式処理システム Risa/Asir のインプリメンテーションについて

野呂正行(富士通国際研)

〔概要〕 サブルーチンライブラリとしても使用可能な Risa/Asir のインプリメンテーションについて述べる。

- (2) プロダクション規則と局所評価関数による制約充足問題の解法

金田 泰(新情報処理開発機構)

〔概要〕 自己組織計算のための計算モデル CCM にもとづいて制約充足問題を解く方法を示す。

- (3) マウスメソッドの実装 一分散ウィンドウキット上の設計—

古坂孝史(IPA)

〔概要〕 クルージャを転送する方式と割り込み処理によるマウスメソッドの起動に関して述べる。

- (4) CPS-conversion を用いた Scheme の処理系

三木裕史, 中西正和(慶大)

〔概要〕 Scheme のインタプリタを MCPS-conversion を用いて実現する方法について報告する。

- (5) 古典的のガーベジコレクションからの話題

寺島元章(電通大)

〔概要〕 Mark-and-sweep 方式に基づく停止型 GC の範疇でその効率の限界を目指す方法について述べる。

◆第92回 データベースシステム研究会

(発表件数: 10件)

日 時 平成5年3月22日(月) 9:30~17:00

会 場 機械振興会館 地下3階 2号室(所在地は前記参照)

議 題 — 9:30~12:25—

- (1) 文字成分表による文字列検索の実現と評価

岩崎雅二郎, 小川泰嗣(リコー)

〔概要〕 単一文字および隣接文字から成る文字成分表を利用した文字列検索システムの実現と評価について。

- (2) 連合データベースシステムにおける具体化された集約関数の管理法 木實新一, 古川哲也 (九大)
 [概要] 要素データベースの異種性を具体化された集約関数で統合した場合の一貫性管理法について論じる。
 (3) データの状態に基づく並行処理制御の正当性

- 徐 海燕 (福岡工大), 古川哲也 (九大), 史 一華 (福岡工業短大)
 [概要] 設計 DB 等の高水準 DB における一貫性制約の特徴をまとめ, それに基づいて並行処理制御方式を提案。
 (4) アノテーションの概念を用いた応用適応型バージョン管理機構の研究

- 宮脇忠光, 北川博之, 大保信夫, 藤原 譲 (筑波大)
 [概要] 上記概念を用いて応用目的に適応したバージョン管理機構を実現する方式について述べる。
 (5) シグネチャファイルによる集合値検索の性能評価 福島慶明, 石川佳治, 北川博之, 大保信夫 (筑波大)
 [概要] オブジェクト指向データベースにおける集合値検索をシグネチャにより支援する方式を評価する。

—13: 25~17: 00—

- (6) 第11回 ER 国際会議報告 三浦孝夫 (産能大)
 [概要] 1992年10月ドイツで開催された会議について発表の状況を報告する。
 (7) データ主導情報モデリング設計支援システム IMDSS について 穂鷹良介 (筑波大)
 [概要] JDMF/92 を基礎に, データ主導で情報システムを設計するための支援システムの構想。
 (8) JDMF/92 におけるクラスメソッドおよびクラス変数の取扱いについて 野口 宏, 穂鷹良介 (筑波大)
 [概要] JDMF/92 では, クラスメソッドおよびクラス変数の概念を用いずにモデルが成立することを述べる。
 (9) Virtual class-generation mechanism for visual languages Michael Bjorn, 穂鷹良介 (筑波大)
 [概要] ビジュアル言語で見せかけ上オブジェクトクラスを生成する方法を JDMF の実装に即して述べる。
 (10) 自動レイアウト機能を持つ GUI 生成システム 白田申香利, 飯沢篤志, Arturo Pizano (リコー)
 [概要] ユーザの要求仕様から GUI の構成要素を導出し, 自動的に画面配置を決めていく GUI 生成システム。

◆ 第 45 回 数値解析研究会

(発表件数: 3 件)

(主査: 福井義成, 幹事: 土谷 隆, 長嶋雲平, 吉原郁夫)

日 時 平成 5 年 3 月 22 日 (月) 13: 30~17: 00

会 場 統計数理研究所 本館 3 階 セミナー室

[東京都港区南麻布 4-6-7, 地下鉄日比谷線: 広尾下車, 徒歩 6 分, Tel. 03 (3446) 1501]

議 題

- (1) 遺伝的アルゴリズムによる最適解探索とその高速化 吉原郁夫, 江端智一, 仙石浩明 (日立)
 [概要] 2, 3 の例に基づき, GA の最適化問題への適用時の問題分析を行い, 改善法 (高速化) を示す。
 (2) Analysis of Add-with-Carry and Subtract-with borrow Generators
 手塚 集 (日本 IBM), Pierre L'Ecuyer (Univ. Montreal)
 [概要] Add-with-Carry および Subtrcat-with borrow と呼ばれる乱数生成法のラティス構造について述べる。
 (3) 自動微分法による常微分方程式の解の Taylor 展開 平山 弘 (神奈川工科大)
 [概要] C++ 言語を利用すると自動微分法により, 常微分方程式の解を任意の次数までべき級数展開できる。

◆ コンピュータと教育研究会

第26回研究会を下記の要領で開催します。奮ってご参加下さい。プログラム詳細は 3 月号に掲載します。

日 時 平成 5 年 4 月 10 日 (土) 9: 30~17: 00

会 場 機械振興会館

特 集 知的 CAI/認知科学

*電子情報通信学会 (教育工学研究会・人工知能と知識処理研究会), CAI 学会との共催

◆ 情報メディア研究会

第11回 研究会の発表論文を下記のとおりに開催します。奮ってご応募下さい。

日 時 平成 5 年 5 月 14 日 (金) 10: 00~17: 00

会 場 早稲田大学 総合学術情報センター

議 題 ユーザにとっての情報メディアを検証する

—マスコミ, ミュージアム, ライブラリーにおける不特定多数のユーザに対するユーザ支援, ナビゲーション, および電子メディアの活用に関して (利用例を中心に)—

発表申込締切 平成 5 年 3 月 3 日 (水)

発表申込方法 研究発表申込書の様式で, 発表題目, 発表者名, 略称所属, 概要 (46 文字以内), 発表申込者連絡先 (住所, 氏名, Tel, FAX) をご記入のうえ, 下記連絡先まで直接お申し込み下さい。

連絡先 電子図書館コンソーシアム事務局 事務局長 石塚英男
Tel. 03 (3716) 3621 FAX 03 (3716) 3340

◆ ソフトウェア工学研究会

ソフトウェア工学小規模国際会議 '93 (JCSE '93) の論文を募集しています。詳細は、平成4年12月号の本欄をご覧ください。

また、第92回研究会を下記のとおり開催します。オブジェクト指向分析・設計に関する多数の発表申し込みをお待ちしています。

日 程 平成5年5月26日 (水)
会 場 工学院大学
テ ー マ オブジェクト指向分析・設計
発表申込締切 平成5年2月末日

◆ データベースシステム研究会

◆ システムソフトウェアとオペレーティング・システム (オペレーティング・システム) 研究会 合同研究会発表論文募集

日 程 平成5年5月27日 (木)、28日 (金) (*27日の研究会終了後、懇親会を予定しています)
会 場 工業技術院 電子技術総合研究所 大会議室
議 題 特集: データベースシステムとオペレーティングシステムの接点

ネットワークシステム、分散処理システム、並列マシン、マルチメディアシステムなどの新しい計算機システムの普及が、オペレーティングシステムおよびデータベースシステムの構成方式に多大な影響を与えている、そのような新しい計算機システムの環境においても、オペレーティングシステムとデータベースシステムは、システム内の最も主要な構成要素であり、両者の高機能化および高性能化への要求は高い。本合同研究会では、データベースシステムとオペレーティングシステムの接点に関する研究についての特集を行う。また、パネル討論を行うことも予定している。

主なテーマ

- (1) 並列・分散システムにおけるオペレーティングシステムとデータベースシステム
- (2) マルチメディア、コンティニューアスメディアを対象とした計算機システムのソフトウェア構成方式および実現方式
- (3) データベース、オペレーティングシステム、プログラミング言語の係わり

主なキーワード

データベースオペレーティングシステム、コンティニューアスメディア、マルチメディア、オーサリングシステム、ユーザインタフェースの構成方式、データベースプログラミング言語

パネル討論: オペレーティング・システム、データベース・システム、プログラミング言語の役割と接点

発表申込方法 通常の研究会発表申込の要領でお願いいたします。

発表申込締切 平成5年2月26日 (金)

問合せ先 清木 康 (筑波大) Tel. 0298 (53) 5187 FAX 0298 (53) 5206
e-mail: kiyoki@is.tsukuba.ac.jp
大崎和仁 (電総研) Tel. 0298 (58) 5885 FAX 0298 (52) 0865
e-mail: ohmaki@etl.go.jp

*宿泊ご希望の方は大崎までご連絡ください。工業技術院の宿泊施設が若干名確保できます

◆ プログラミング言語・基礎・実践—研究会

第12回 研究会発表論文募集

並行プロセスの意味論とプロトコル検証、表示の意味論とコンパイラ自動生成、代数的意味論と仕様記述、等々、計算機科学における意味論の理論、その役割、そして、その実践に関する論文を募集します。一般発表も含め、奮ってご応募ください。

日 時 平成5年5月28日 (金)
会 場 工学院大学
議 題 小特集: 意味論の理論と実践
発表申込締切 平成5年2月26日 (金)

問合せ先 萩谷昌己 (東大・理・情報科学) Tel. 03 (3812) 2111 内 4093 FAX 03 (3818) 1073
e-mail: hagiya@is.s.u-tokyo.ac.jp

*研究会に発表申込希望者は開催日の3カ月前までに研究会発表申込書 (本欄末添付) を事務局研究会係までご送付ください。

◆ データベースシステム研究会

エキゾチック「出島」DB ワークショップ in 長崎 研究発表・参加募集

ーデータベースと異文化の接点と融合を求めてー

●恒例の夏の合同研究会*を標記ワークショップとして下記の日程にて開催いたします(略称 EDWIN, エドウィン)。
 ●長崎の出島は、オランダや中国など、当時の進んだ「異文化」の接点として近代日本の科学文明発展に大きな役割を果たしました。これに因んで、本ワークショップではデータベースと異文化-OS, プログラミング言語, ソフトウェア工学, ヒューマンインタフェース, 人工知能, コンピュータネットワーク, マルチメディア通信, 並列計算, 各種応用などなどの接点融合に関係した論文を募集します。したがって、本ワークショップはデータベース研究者だけのものではありません。データベースを専門としない「異文化」の研究会で活動されている方々の積極的な参加もお待ちしております。なお、データベースに関する一般論文も受け付けますのでしどしど応募ください。

●昨年7月に開催された「北の国から」データベースワークショップで好評をいただいたグループ別討論も行います。今回は、「データベースとプログラミング言語」, 「データベースと知識工学」, 「データベースと社会システム」などをはじめとする種々の分野との接点や融合に関する議論を予定しています。その他、特別講演・見学旅行等も企画中です。奮ってご参加ください。

日 程 平成5年7月21日(水)～23日(金)

会 場 ホテルセントヒル長崎(JR長崎下車, 徒歩7分)

発表申込方法 通常の研究会発表申込の要領をお願いいたします。

発表申込締切 平成5年4月28日(水)

問合せ先 増永良文(情報大) Tel. 0298 (52) 0511 内 340 FAX 0298 (52) 4326

掛下哲郎(佐賀大) Tel. 0952 (24) 5191 内 2565 e-mail: kake@is.saga-u.ac.jp

*現在、ホテルセントヒル長崎にシングル10室(5,500円), ツイン7室(10,600円)を押えてあります(大学関係者は割引あり)。宿泊ご希望の方は掛下までご連絡下さい。

*電子情報通信学会(データ工学研究会)共催。

◆ 第6回 オーディオビジュアル複合情報処理研究グループ

(発表件数: 5件)

(主査: 富永英義, 幹事: 二宮祐一, 村上仁己, 安田 浩)

日 時 平成5年3月3日(水) 13:15～17:00

会 場 機械振興会館 研修1号室(所在地は前記参照)

議 題 特集: マルチメディア, ハイパーメディアの今後

(MPEG ローマ会合, MHEG 東京会合('93.1開催)の報告を含む)

- | | |
|----------------------------|----------------|
| (1) MPEG 映像符号化技術の動向 | 大久保栄 (NTT) |
| (2) ハイパーメディア符号化技術の動向 | 尾上秀雄 (日本ビクター) |
| (3) 情報インフラの世代交替とマルチメディア符号化 | 藤原 洋 (GCT) |
| (4) 新しいアミューズメントシステム | 塚田芳夫 (電通プロックス) |
| (5) MPEG1 符号化技術のカラオケへの応用 | 菅原隆幸 (日本ビクター) |

*電子情報通信学会(画像工学研究会), IEEE 東京支部 BT グループと協賛

参加費 情報処理学会, 電子情報通信学会会員: 3,000円 その他: 5,000円

問合せ先 一之瀬進 (NTT HI 研) Tel. 0468 (59) 8374 FAX 0468 (59) 2829

◆ 第7回 テクニカルコミュニケーション研究グループ研究会

(発表件数: 2件)

(主査: 山田尚勇, 幹事: 牛島和夫, 空閑茂起, 福島敏高)

日 時 平成5年3月10日(水)

会 場 機械振興会館 地下2階 研修2号室(所在地は前記参照)

議 題 マニュアルコンテストの評価について(予定)(発表者は未定)

年間登録者 (無料未登録者: 2,000円)

問合せ先 福島, 杉田(富士通) Tel. 03 (3216) 9725 FAX 03 (3216) 5987

平成5年度 研究会のお知らせ

平成5年度は、下記のとおり23研究会（＊：新設3）で実施します。

研 究 会 名		主査	幹事	取り扱う研究分野の例
1	自然言語処理	・野村 浩郷	永井 秀利 林 良彦 丸山 宏	言語理論, 言語行動, 言語資料・統計, 辞書, 形態素解析, 統語解析, 意味解析, 文脈解析, 対話, 談話理解, 音声言語, 知識表現, 機械翻訳, 情報検索, 自然言語処理ソフトウェア
2	データベースシステム	・増永 良文	井上 潮 鶴岡 邦敏 吉川 正俊	データモデル, DB設計, DBPL, 情報資源管理, 質問処理, トランザクション管理, DBMS7-ソフトウェア, 分散型DB, オブジェクト指向DB, 演繹DB, マルチメディアDB, オフィスDB, インジニアリングDB, ユーザインタフェース, DB高度応用
3	人 工 知 能	・石塚 満	沼尾 正行 橋田 浩一 吉田 裕之	知識表現, 推論・探索, 学習, 認知モデル, ニューラルネット, 知識ベース, エキスパートシステム, フォジー理論, パターン・自然言語の理解, 知的インタフェース, 分散・協調AI, AI7-ソフトウェア, その他の知能メカニズム関連研究と応用システム
4	記 号 処 理	・小川 貴英	天海 良治 寺田 実 湯浦 克彦	記号（リスト, オブジェクト, プログラムなど）の処理のアーキテクチャ, 計算モデル, 言語, 処理系, ゴミ集め, プログラミング技法, ツール, 応用
5	ソフトウェア工学	・磯田 定宏	青山 幹雄 大蔭 和仁 深澤 良彰	要求分析, 設計方法論, 仕様記述, プログラミング方法論, 検査・検証, ツール, 開発環境, 再利用, プログラム合成, 開発管理, メトリックス, 人的要因
6	計算機アーキテクチャ	・富田 眞治	中島 浩 村上 和彰 矢野 陽一	計算機システム・アーキテクチャ全般, ソフトウェア・システム（OS, コンパイラ, ツール）とのインタフェース, 並列処理アーキテクチャ, VLSIアーキテクチャ
7	システムソフトウェアと オペレーティング・システム （オペレーティング・システム）	・鈴木 則久	清水 康 萩野 達也 福田 晃	分散・並列・超並列OS, 実時間OS, 計算機システムの性能評価, データベースシステム, コンパイラ, ネットワークシステム
8	コンピュータビジョン	・杉原 厚吉	井宮 淳 谷口倫一郎 長谷川純一	視覚情報処理：画像処理, 画像理解, 物体認識, 3次元形状復元, ステレオ視, モーション, 味覚ビジョン, 視覚モデル, 画像データベース, 画像プロセッサなど
9	設 計 自 動 化	・上田 和宏	小川 泰 河村 匡彦 安浦 寛人	LSI, プリント基板等の設計自動化に関連した分野：ハードウェア記述言語, ハイレベル合成, 論理合成, テスト容易化設計, 検証診断, レイアウト等
10	マルチメディア通信と 分散処理	・白鳥 則郎	鈴木 健二 滝沢 誠 寺中 勝美	マルチメディアによる高度情報通信ネットワークと分散処理システム（高速通信, 分散コンピューティング, マルチメディア情報通信, 知的通信, プロトコル, 分散協調等）
11	ヒューマン インタフェース	・安西祐一郎	井関 治 小川 克彦 廣瀬 通孝	計算機システムのヒューマンインタフェース, 認知情報処理のモデル, 協調作業のインタフェース, マルチメディアインタフェース, インタフェースとコミュニケーション, 人工現実感, 文書処理とオフィスオートメーション
12	グラフィックスとCAD	・西原 清一	大野 義夫 福井 一夫 間瀬 健二	CGのソフトウェア・アルゴリズム・ハードウェア, EWS, インタフェース, 形状モデリング, アニメとアート, 可視化, 仮想現実感, CAD/CAM, デザイン, 計算幾何学, 画像生成, 図面処理

研究会名	主査	幹事	取り扱う研究分野の例
13 ハイパフォーマンス コンピューティング (数値解析)	・福井 義成	土谷 隆 長嶋 雲兵 吉原 郁夫	数値計算/シミュレーションの理論と実際(モデル化, アルゴリズム, 品質保証), 高速・高性能計算用アーキテクチャ・システム(超並列WS) 利用技術/性能評価と提言, 計算と計算機を結ぶ技術(可視化, 言語, テタ配置, 最適化, ガバゲル等)
14 情報システム	・上野 滋	内木 哲也 中嶋 聞多 初瀬川 茂	情報システム(OIS, MIS, 情報サービスなど)の分析, 設計, 構築, 利用, 情報ニーズ, 情報・データの管理などの理論と実際, 情報システムと人間・組織・社会
15 プログラミング —言語・基礎・実践—	・萩谷 昌己	大堀 淳 柴山 悦哉 松岡 聡	計算のモデルとプログラミングの基本概念, プログラミング言語とその設計, プログラミング言語の実現, プログラミング工程と支援環境, プログラミングのための新しい概念・方法・パラダイム
16 情報学基礎	・細野 公男	石塚 英弘 中川 優 尹 博道	1. 情報の表現, 識別, 分類, 評価, 流通, 管理の手法 2. 学習と発見による大量情報の知識化, 遺伝子情報 3. 大量のマルチメディア情報, 文字情報の処理
17 コンピュータと教育	・一松 信	三好 和憲 矢野 米雄 吉田 瑞穂	1. 学校および企業における情報分野の専門技術者・研究者の育成, ならびにリテラシーとしての一般的情報処理教育のためのカリキュラム, 具体的指導方法, 実践例等 2. 知的CAIを含む教育における計算機応用
18 アルゴリズム	・五十嵐善英	浅野 哲夫 白石 洋一 平田 富夫	1. グラフ, ネットワーク, VLSIなどに関する離散アルゴリズム 2. 計算幾何学と計算代数学 3. 暗号, 符号などの数論的アルゴリズム 4. 確率アルゴリズム, 近似アルゴリズム 5. 並列, 分散アルゴリズム, ハードウェアアルゴリズム 6. データ構造 7. 計算の複雑さの理論
19 人文科学と コンピュータ	・及川 昭文	竹内 健 長瀬 真理 八村広三郎	1. 人文科学, 博物館・美術館への情報処理, コンピュータの応用要素と実現技術 2. 人文科学系1-8として柔軟な1-9-インタフェースの実現要素と技術 3. 情報処理と人文科学系間での学際的協力 4. コンピュータ, 情報処理の社会的側面
20 情報メディア	・相磯 秀夫	石塚 英男 上林 憲行 田中 譲 中川 透	情報メディアの科学と工学: 1. 情報の生態系 2. メディアの電子化, 映像化, メディア機械(仮想現実等) 3. メディアの創作, 編集, 表現, 伝達, 管理, 理解のメタファと環境
21 * 音楽情報科学	・平田 圭二	嶋津 武仁 志村 哲孝 鈴木 孝	計算機技術と音楽双方に関連した領域: 計算機の介在した作曲・編曲・演奏・伴奏, 電子楽器, 音楽信号処理, AIと音楽, 音楽の認知・知覚・感性情報, 音楽情報処理システム, 音楽学や音楽芸術と計算機技術
22 * オーディオビジュアル 複合情報処理	・富永 英義	二宮 佑一 村上 仁己 安田 浩	ハイブリッドと画像情報処理: 1. 画像信号処理, HDTV信号・低ビットレート画像信号・システム 2. 高品質音声処理・音場処理 3. メディアを相互に関連付けるハイブリッド技術・システム 4. B-ISDN, マルチメディア, ハイブリッドの国際標準化
23 * グループウェア	・松下 温	岡田 謙一 守屋 康正 山上 俊彦	1. 協調基礎(組織, 認知, 社会心理, 行動科学) 2. グループ応用(意思決定, 共著/共同設計, 発想, 教育 3. グループウェア(仮想環境, グループ通信) 4. 分散ウェア 5. マルチUI 6. 事例研究

*新設

- ・年間を通して参加される場合は登録をお願いします。登録費は研究会ごとに毎年度見直しの上、決定します。
- ・登録されていない会員は研究発表会当日資料代をいただきます。
資料代は資料ページ数により 1000 円, 1500 円, 2000 円, 2500 円となります。
- ・学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして、「研究会準登録者」制度を設けております。詳細等につきましては、事務局研究会担当者までお問合せください。

◆ 研究発表会開催予定 (1993 年 4 月～1994 年 3 月)

(平成 5 年 1 月 20 日現在)

(研究会名)

(開催日・会場他)

自 然 言 語 処 理	◎5月20日(木)・21日(金) 福岡工大 7月9日(金) 宇都宮大 9月17日(金) リコー 11月19日(金) 電総研 1月20日(木)・21日(金) 阪大 3月18日(金) 北陸先端大
デ ー タ ベ ー ス シ ス テ ム	5月27日(木)・28日(金) 電総研 ※DB・OS・プログラミング言語(*OS 研合同) ◎7月21日(水)～23日(金) 長崎 ※データベースと異文化の接点と融合を求めて 9月9日(木) NTT(横須賀) 10月29日(金) 広島 3月中旬 工学院大
人 工 知 能	6月23日(水) 工学院大 8月18日(水)・19日(木) 鞆の浦シーサイドホテル(広島) —SWoPP '93— 9月28日(火) 富士通研 11月24日(水) 工学院大 1月26日(水)・27日(木) 神戸大 3月上旬 工学院大
記 号 処 理	6月18日(金) 工学院大 ※並列記号処理(小特集) 9月17日(金) 電総研 11月19日(金) 長野大 ※最適化コンパイラ技術(小特集) 1月14日(金) 工学院大 3月18日(金) NTT(武蔵野)
ソ フ ト ウ ェ ア 工 学	5月26日(水) 工学院大 ※オブジェクト指向 7月8日(木)・9日(金) 北海道 ◎9月下旬 東京近郊 ◎11月 東京近郊 1月20日(木)・21日(金) 鹿児島大 3月上旬 工学院大
計 算 機 ア ー キ テ ク チ ャ	6月 日立(中研) ※アーキテクチャ教育(小特集) 8月19日(木)・20日(金) 鞆の浦シーサイドホテル(広島) —SWoPP '93— 10月下旬 地方 ※ハイパフォーマンスコンピューティングと アーキテクチャ(*HPC 研合同) ◎12月16日(木)・17日(金) 関西 ※アーキテクチャと CAD (*DA 研合同) 1月 山形 ※システムの定量的性能評価(*OS 研合同) 3月 北海道
システムソフトウェアと オペレーティング・システム (オペレーティング・システム)	5月27日(木)・28日(金) 電総研 ※DB・OS・プログラミング言語(*DBS 研合同) 7月8日(木)・9日(金) 阪大 ※マルチメディアにおける通信とシステム (*DPS 研合同) 8月18日(水) 鞆の浦シーサイドホテル(広島) —SWoPP '93— 1月 山形 ※システムの定量的性能評価 (*ARC 研合同) 3月22日(火) 工学院大
コ ン ピ ュ ー タ ビ ジ ョ ン	5月20日(木)・21日(金) 名大 7月22日(木) 岡山大 9月30日(木) 三洋電機 11月11日(木) 北陸先端大 1月20日(木)・21日(金) 阪大 3月中旬 機械振興会館
設 計 自 動 化	6月25日(金) 金沢大 ◎10月28日(木)・29日(金) 山口 ※デザインとテスト ◎12月16日(木)・17日(金) 関西 ※アーキテクチャ設計, 機能論理設計 (*ARC 研合同) 2月4日(金) 学会会議室(エステック情報ビル)

マルチメディア通信と分散処理	5月14日(金) 工学院大 7月8日(木) ・9日(金) 阪大 ※マルチメディアにおける通信とシステム (*OS 研合同) 9月20日(月) ・21日(火) 機械振興会館 1月28日(金) NTT(横須賀) (*GW 研合同) 3月4日(金) 工学院大
ヒューマンインタフェース	5月13日(木) ・14日(金) 慶大 7月8日(木) NTT(横須賀) ◎9月17日(金) 機械振興会館 ※福祉(小特集) 11月11日(木) 日電(関西) 1月13日(木) 東芝(川崎) 3・10日(木) ・11日(金) 九工大, または中京大 ※エコロジカル・インタフェース (*パネル討論)
グラフィクスとCAD	5月21日(金) 工学院大 7月16日(金) 筑波大 ※図面理解 8月19日(木) ・20日(金) 浜名荘(浜松) ※CG と感性 —集中研究集会— 10月22日(金) 岩手大 ◎12月16日(木) ・17日(金) 九大 2月18日(金) 工学院大
ハイパフォーマンス コンピューティング (数値解析)	4月26日(月) KKR 竹橋会館 6月18日(金) 工学院大 8月20日(金) 鞆の浦シーサイドホテル(広島) —SWoPP '93— 10月下旬 地方 ※ハイパフォーマンスコンピューティングと アーキテクチャ (*ARC 研合同) 2月下旬 東京
情報システム	5月18日(火) 工学院大 7月20日(火) 工学院大 10月19日(火) 工学院大 1月18日(火) 工学院大 3月15日(火) 東京 ※若手の会
プログラミング 一言語・基礎・実践	5月28日(金) 工学院大 ※意味論の理論と実践(小特集) 8月19日(木) ・20日(金) 鞆の浦シーサイドホテル(広島) —SWoPP '93— 10月29日(金) 工学院大 ※オブジェクト指向と型(小特集) ◎3月10日(木) ・11日(金) 東京 ※並列・分散
情報学基礎	5月11日(火) 工学院大 ※図書館情報学 7月13日(火) 工学院大 9月14日(火) 地方 11月9日(火) 工学院大 ※情報基盤の整備と利用技術
コンピュータと教育	◎4月10日(土) 機械振興会館 ※知的 CAI/認知科学 5月21日(金) 工学院大 7月16日(金) 工学院大 9月24日(金) 筑波大 ※数式処理と教育 11月26日(金) 工学院大 ※遠隔教育とネットワーク技術 1月21日(金) 工学院大
アルゴリズム	5月28日(金) 名大 8月19日(木) 鞆の浦シーサイドホテル(広島) —SWoPP '93— 9月30日(木) ・10月1日(金) 新潟大 11月25日(木) ・26日(金) 大阪電通大 1月25日(火) 日立(中研) 3月18日(金) 工学院大
人文科学とコンピュータ	5月21日(金) 京都工繊大 9月3日(金) ミネソタ大秋田分校 ※日本語教育(小特集) 11月26日(金) 岡山大 1月28日(金) 鹿児島
情報メディア	5月14日(金) 早大 ※不特定多数のユーザのための共有情報メディア(小特集) 7月9日(金) ソニー(東京) 11月12日(金) 九大 1月14日(金) 東京 3月11日(金) 東京

*音 楽 情 報 科 学	◎ 4 月 23 日 (金) ICOT 6 月 10 月上旬 大阪 12 月 12 月中旬 早大 2 月 東京
*オーディオビジュアル 複合情報処理	6 月 18 日 (金) 機械振興会館 9 月 17 日 (金) 東京 12 月 17 日 (金) 機械振興会館 3 月 18 日 (金) 地方
*グ ル ー プ ウ ェ ア	4 月 28 日 (水) 機械振興会館 6 月 25 日 (金) 工学院大 8 月 27 日 (金) 工学院大 10 月 29 日 (金) 三重大 1 月 28 日 (金) NTT (横須賀) (*DPS 研合同)

注) * : 新設, ※ : 特集・テーマ, ◎ : 他学会との共催

SWoPP '93 : 1993 年並列／分散／協調処理に関する『艸の浦』サマワークショップ

◎各研究会に発表申込希望者は開催日の 3 カ月前までに研究会発表申込書（本欄末添付）を事務局研究会係までご送付ください。

——研究会参加・発表申込方法・研究報告について——

研究会参加

研究会には自由に参加できます。開催に関する詳細は開催月前月の本欄に掲載いたします。
（長期予告は 2, 8 月号に掲載いたします。）

研究発表会当日参加について

登録会員の当該登録研究会参加 無 料

登録会員以外で研究発表会に参加の場合には

- 会員 当日の資料代 (1,000 円～2,500 円 * ページ数により 4 段階)
- 学生会員 500 円
- 非会員 1,000 円 + 当日の資料代

* 年間をとおして参加の場合には登録をお願いします。

発表申込方法

会員は任意の研究会に次の方法で研究会発表の申込をすることができます。希望者は所定の研究会発表申込書（学会誌 2, 8 月号本欄に掲載）により、発表希望日の 3 カ月前までに事務局研究会係にお申込ください。なお、申込締切日は都合により若干繰上ることがあります。

原稿執筆についての詳細は発表が決定（開催月の 2 カ月前の中旬）しましたらお知らせします。

研究会登録申込

研究報告（研究発表会資料）を年間をとおして入手希望の場合には登録をお願いします。登録者には、研究会開催のつど研究報告を後日郵送いたします。各研究会登録費につきましては、2, 4 月号本欄掲載の研究会登録申込用紙（新規）をご参照願います。

学際的な研究会への境界領域の方々を対象とした研究会登録手続きとして「研究会準登録者」制度を設けております。詳細につきましては、事務局研究会係までお問合わせください。

研究報告残部購入申込

発表年月（資料番号）、研究会名、希望部数、申込者氏名、送付先、電話番号、郵便番号および支払方法を明記し書面にて事務局研究会係までお申込ください。その際には、あらかじめ電話等で残部の確認をお願いします。（当年度、前年度残部のみ頒布可。送料（切手）、1 冊につき 250 円。）

残部資料のないもののコピーサービスに関しましては日本科学技術情報センター（JICST）へお問合わせください（有料）。なお、国立国会図書館においても閲覧、コピーすることができます。

* 国立国会図書館 100 東京都千代田区永田町 1-10-1 Tel. 03 (3581) 2331

* 日本科学技術情報センター（JICST） 100 東京都千代田区永田町 2-5-2 Tel. 03 (3581) 6411

研究報告の閲覧

閲覧希望者は、あらかじめ電話等でその旨を研究会係までお申出のうえお越しく下さい。

年 月 日

個人会員専用

平成5年度研究会登録申込用紙
新規専用

会員No. _____ 会員氏名 _____

登録希望の研究会の申込欄に○印をしてください。

(円)

申込み (略称/コード)	研究会名	登録費	申込み (略称/コード)	研究会名	登録費
NL-AA	自然言語処理	4,500		ハイパフォーマンス コンピューティング (数値解析)	4,000
DBS-BB	データベースシステム	5,000	HPC-OO		
AI-CC	人工知能	4,000	IS-QQ	情報システム	4,500
SYM-DD	記号処理	3,500		プログラミング －言語・基礎・実践－	4,500
SE-EE	ソフトウェア工学	4,500	PRG-RP		
ARC-GG	計算機アーキテクチャ	4,500	FI-SS	情報学基礎	4,000
OS-HH	システムソフトウェアと オペレーティング・システム (オペレーティング・システム)	3,000	CE-TT	コンピュータと教育	4,000
CV-JJ	コンピュータビジョン	4,000	AL-UU	アルゴリズム	5,000
DA-KK	設計自動化	5,500	CH-VV	人文科学とコンピュータ	4,000
			IM-WW	情報メディア	3,500
DPS-LL	マルチメディア通信と 分散処理	4,500	MUS-XX	*音楽情報科学	3,000
HI-MM	ヒューマンインタフェース	4,000	AVM-YY	*オーディオビジュアル 複合情報処理	3,000
CG-NN	グラフィクスとCAD	4,500	GW-ZZ	*グループウェア	3,000

*新設

登録申込み _____ 件 合計金額 _____ 円 請求書 要 (_____ 部) ・ 不要

※ 登録上の注意

- ・本申込書は新規の方のみご利用ください。(平成4年度に登録された方は使用できません。)
- ・登録者には、研究会開催のつど研究報告を後日郵送します。
- ・研究報告送付先は学会誌送付先と同様となります。(変更等は書面にて会員係までご連絡ください。)
- ・登録費の払込は登録手続完了後、別途発送いたします登録費専用振替用紙にてご送金願います。
- ・登録は、登録費の領収をもって正式の受付とします。

※ 連絡先

勤務先・所属名: _____

Tel. _____ - _____ 内 (_____)

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エスック情報ビル 27階 (社) 情報処理学会 研究会係
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

情報処理学会第46回全国大会（平成5年前期）参加について

開催期日 平成5年3月23日（火）～26日（金）

会場 工学院大学（新宿区西新宿 1-24-2）

プログラム 詳細は本号黄色のページに掲載してあります。交通、会場などはプログラムの会場案内図を参照してください。

一般参加の方へ

1. 総受付 3階 312教室ロビー
2. 参加費 会員 1,000円（賛助会員は1口1名として正会員に準じます。）
非会員 2,000円（ただし電気、電子情報通信、照明、テレビジョンの各学会会員は会員扱いとします。会員番号を申し出てください。）
学生 無料
3. 論文集 定価 6,000円（予約は締切りました。）
（当日お頒けできるのは、残部のある場合に限りです。）

◎参加される方は、受付にて参加費を納め、参加章を受けとってください。参加章のない方は会場に入れません。

一般講演を行う方へ

1. 講演者は、講演の始まる前に、必ず各セッション会場前の講演者受付で、出席の確認を受けてください。
2. 講演者は、前の講演者の講演時間中に、座長席の前に設けられた「講演者控」で待機するようにしてください。
3. 一般講演の時間は、質疑を含め、15分を原則とします（都合により13分のセッションもあります）。講演中でも時間がくれば打ち切ります。
4. 講演終了予定時刻の5分前および3分前に座長補佐がベルで合図します。
5. 講演の代読は認めません。

奨励賞の表彰

24日（水）午後第45回全国大会奨励賞受賞者の表彰をA会場（3階 312教室）で行います。

（その他の一般注意）

1. 食堂、休憩室などはプログラムの会場案内図等を参照のこと。
2. 電話の呼び出しはいたしません。（万一止むを得ない場合のみ、伝言板に掲示：Tel. 03 (3342) 1211（代）、03 (3340) 9829）
3. 駐車場がないので、自家用車による参加はできません。

第 46 回 全国大会「チュートリアル・セッション」開催について

本会では、全国大会の前日にチュートリアル・セッションを開催することにしております。多数の会員が一堂に会する機会にチュートリアル・セッションを開催し、会員の方々の関心のあるテーマを取り上げ、理解を深めたいと考え、この分野の第一線で活躍の専門家により、最新の技術、さらには将来展望をも含めたチュートリアル・セッションを考えております。

つきましては、標記チュートリアル・セッションを下記により企画いたしました。この機会に奮ってご参加されるようお勧めいたします。

日 時 平成 5 年 3 月 23 日 (火) 9:00~17:00
 場 所 工学院大学 (新宿区西新宿)
 参 加 費 会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生 5,000 円
 (どちらのセッションも聴講できます。)
 (資料のみ 4,000 円, 送料込)
 申込締切 平成 5 年 3 月 8 日 (月)
 (英語の講演は同時通訳つきです。)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

T1: CG が目指すリアリティとクオリティ

10:15~10:30	あいさつ	西原 清一 (筑波大)
10:30~11:45	1. CG の技術動向	西田 友是 (福山大)
11:45~12:50	一 昼 休 み	
12:50~14:05	2. アミューズメント CG	斉藤 直宏 (ナコム)
14:05~14:15	一 休 憩	
14:15~15:30	3. 印刷業界と CG	小松原 繁 (大日本印刷)
15:30~15:40	一 休 憩	
15:40~16:55	4. 自然現象のモデリング手法	安生 健一 (日立)

T2: オープンシステムにおけるセキュリティ対策

9:00~9:15	あいさつ	黒川 恒雄 (工学院大)
9:15~10:30	1. Management and Security in the Open Systems and open systems Interconnection Environment	W. J. Caelli (Queensland Univ. of Technology)
10:30~11:00	一 休 憩	
11:00~12:30	2. Emerging Architectures for Security and Management in Distributed and Open Computer Systems	W. J. Caelli (Queensland Univ. of Technology)
12:30~13:45	一 昼 休 み	
13:45~15:00	3. IBM のセキュリティ対策	小島 格 (日本 IBM)
15:00~15:30	一 休 憩	
15:30~16:30	4. UNIX のセキュリティ対策	James Clark (UNIX)
16:30~17:15	5. パネル討論	
17:15~17:30	6. サマリーと質疑応答	

第46回 全国大会「チュートリアル・セッション」

参 加 申 込 書

平成5年 月 日

標記チュートリアル・セッションの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

正会員、賛助会員 10,000 円 非会員 15,000 円 学生 5,000 円

*参加費には、資料代が含まれています。

○テキストのみ（4,000 円、送料込） _____冊

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____月 _____日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 チュートリアル係 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

.....
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関・
部課名 _____

フリガナ
氏 名 _____

殿 _____

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

奨励賞候補の推薦について

全国大会で優秀な論文を発表した会員の中から、大学学部卒業後10年未満（またはこれと同等）の若手の科学者・技術者約10名を選び、奨励賞を贈呈し表彰いたしております。

つきましては、来る平成5年3月24日～26日に工学院大学で開催される第46回全国大会での登壇発表者の中から、下記により受賞候補者1名をご推薦くださいますようお願いいたします。

また、第46回全国大会参加者には会場に推薦用紙を用意してありますので、会場でご推薦くださるようお願いいたします。

なお、受賞者の選定は奨励賞委員会（委員長 相磯副会長）で行い、その発表と表彰は本年10月に開催の第47回全国大会（鳥取大学）時に行われる予定です。

記

選定範囲および推薦数

第46回全国大会で発表された優秀な論文の登壇発表者1名

推薦資格 本学会正会員に限る。

推薦方法 官製はがきに、推薦する論文の ①講演番号 ②題目 ③登壇発表者名 ④所属 ⑤出身校(学部)卒年 ⑥推薦理由および推薦者の氏名、所属、住所をもれなくご記入のうえ、本会奨励賞係あてお送りください。

推薦締切 平成5年3月31日（当日消印有効）

表 彰 規 程 (抜 粋)

第5章 奨 励 賞

第19条 奨励賞は、情報処理に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈する。

第20条 奨励賞を受ける者は、全国大会において優秀な論文を発表した者で、つぎの各号に該当する者から選定する。

- イ 選定の時期において本会会員であること（選定の時期とは、第1回の委員会開催時とする。）
- ロ 講演の時期において大学の学部卒業後10年未満の者またはこれと同等と認められる者であること。
- ハ 大会参加申込の際講演者として登録かつ講演を行った者であること。
- ニ 本奨励賞を受けたことのないものであること。

第21条 第20条の選定は、全国大会終了後速やかに行う。

第22条 奨励賞は、毎回約10名ずつ選定し、贈呈する。

第23条 奨励賞は、賞状、賞牌および賞金とする。

賞金は、1名につき20,000円とする。

「マルチメディア通信と分散処理」ワークショップ開催について

「マルチメディア通信と分散処理」シンポジウムを下記の要領で開催いたします。本ワークショップは、合宿形式により、論文発表とともに、広い範囲での多くの議論を行うことが目的であります。この分野に関心をもたれている多数の方のご参加をお願いいたします。

日 時 1993年3月3日(水) 午後2時～3月5日(金) 午後1時

場 所 湯布院町営国民宿舎 由布山荘
879-51 大分県大分郡湯布院町大字川上 2927-1
Tel. 0977 (84) 2105 又は 2106

交 通 大分空港から、空港バスで大分駅(約1時間)、JR で由布院駅(1時間)。博多駅から JR 特急(ゆふ号)で、由布院駅(約2時間30分)。JR 由布院駅より徒歩3分(約250m)。

主 催 情報処理学会 マルチメディア通信と分散処理研究会

参 加 費 (予稿集代、宿泊、懇親会費を含む)

研究会員 32,000 円 学生会員 25,000 円

会 員 37,000 円 一 般 42,000 円

申込締切 2月15日

申 込 先 情報処理学会シンポジウム係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

~~~~~プ ロ グ ラ ム~~~~~

第1日 3月3日(水)

研究会主査挨拶 (13:50～14:00)

河岡 司 (NTT)

セッション1 グループウェア (14:00～15:40)

自律移動ロボット群を用いた協調行動の実験支援システム

宇津宮孝一、副島 匡暢、肥川 宏臣、児玉 利忠、吉田 和幸 (大分大)

分散形計算環境下における協同作業支援のための即時コミュニケーション機能の考察

凍田 和美、板倉 昭二(大分芸術文化短大)、佐藤 博治、菊池 達哉、宇津宮孝一 (大分大)

遠隔会議におけるコミュニケーションメディアの役割

増田 百合 (富士通九州通信システム)、荒木啓二郎、古川 善吾 (九大)

マルチエージェント組織の適応変化に関する研究

長木 正宏、井内 稔、山崎 晴明 (山梨大)

——休憩 (15:40～16:00)——

セッション2 グループ通信 (16:00～17:40)

大規模放送網のための送信順序保存放送通信手順 高村 昌興、中村 章人、滝沢 誠 (電機大)

分散システムにおけるフォールトトレランスのためのグループ間通信 檜垣 博章、曾根岡昭直 (NTT)

TCP プロトコルにおけるマルチキャスト機能の実現法

高村 尚彦、大西 淑雅、Bernady O. Apduhan、末吉 敏則、有田五次郎 (九工大)

新 MAC 方式により隠れ端末問題の解決

泉本 貴広、重野 寛、大西 祥浩、横山 光男、松下 温 (慶大)

第2日 3月4日(木)

セッション3 ネットワーク管理 (9:00～12:20)

ネットワーク管理情報収集システム DIET の開発

山本 茂、岡山 聖彦 (阪大)、山口 英 (奈良先端科学技術大学院大)、宮原 秀夫 (阪大)

広域ネットワーク環境における分散型情報管理ツールの開発 中村 誠一 (九工大)、

山口 英 (奈良先端科学技術大学院大)、尾家 祐二 (九工大)、宮原 秀夫 (阪大)

広域ネットワークにおける分散資源発見システムの提案 堀 良彰 (九工大)、

山口 英 (奈良先端科学技術大学院大)、尾家 祐二 (九工大)、宮原 秀夫 (阪大)

アドレス指定モデル

村山 優子 (慶大)

CMIP と SNMP を融合させた LAN 統合管理アーキテクチャの実現

中川路哲男, 宮内 直人, 三上 義昭, 勝山光太郎, 水野 忠則 (三菱)

オブジェクト指向によるネットワーク管理問題分析と, OSI 管理利用に関する考察

北橋 雅子 (情報処理振興事業協会), 野口 正一 (東北大)

ISO 10646 と国際化された文字コードについて

太田 昌孝 (東工大)

EDI 汎用トランスレータの実装

杉山 敬三, 小花 貞夫, 鈴木 健二 (KDD)

——昼食 (12:20~13:10)——

セッション 4 データベースシステム (13:10~15:15)

移動体トランザクションの概略同期方式

濱田 賢, 滝沢 誠 (電機大)

分散型データベースシステムのオブジェクト指向設計

二村 祥一, 河内 一浩, 神田 健二, 荻 晋也 (大分大)

構造化ビューオブジェクトによるハイパーリンク融合型マルチメディアデータベース

木崎 秀人, 黒田 信和, 北山晃一郎, 服部 進実 (金沢工大)

広域分散ファイルシステム MUFS とその適用

鈴木 重治, 小泉 一郎, 内田 昭宏 (NEC)

ファイルシステム共有環境における負荷分散方式の研究

村田 努, 井内 稔, 山崎 清明 (山梨大)

——休憩 (15:15~15:30)——

招待講演 (15:30~16:10)

キャンパスオートメーション計画—新しい大学キャンパス環境構築の試み—

有田五次郎 (九工大)

セッション 5 移動通信とインターネット (16:10~17:50)

エリア内エンドシステム移動のための OSI ベースのルーティングプロトコル

田中理恵子, 塚本 昌彦 (シャープ)

ノートブックコンピュータ上での移動 UNIX 環境の実現と評価

杉浦 一徳, 石井, 村井 純 (慶大)

インターネット上での CLNP の実験環境

横川 典子, 村井 純 (慶大)

インターネットとパソコン通信との相互接続

吉村 伸 (東大), 村井 純 (慶大)

——懇親会 (18:30~20:00)——

第3日 3月5日 (金)**セッション 6 マルチメディア通信と処理 (9:00~11:05)**

マルチメディア交換形式 MIME の学内ネットにおける取扱い事例

手塚 昌也 (明星大), 川合 英俊 (いわき明星大)

マルチメディア情報ネットワークの知的インタフェース

勝本 道哲, 柴田 義孝 (東洋大)

分散型マルチメディアシステムにおける情報同期機構の実現

寺西 裕一, 田島 孝一, 藤川 和利, 下條 真司, 宮原 秀夫 (阪大)

マルチメディアの会話型操作における同期方式の検討

大野 隆一, 寺西 祐人, 相田 仁, 斉藤 忠夫 (東大)

映像情報多重アクセスサーバー MAMI

藤井 寛, 小谷 尚也, 櫻井 紀彦 (NTT)

——休憩 (11:05~11:20)——

セッション 7 並列処理 (11:20~12:35)

分散システムを利用した並列処理環境における通信処理の影響

手塚 忠則, 了 戒清, 末吉 敏則 (九工大)

一次元アレイプロセッサにおけるタスクマッピング手法

川口 剛, 田村 吉紀 (宮崎大)

ボルツマンマシンに基づくマッチング機構

柴田 知博, 井内 稔, 山崎 清明 (山梨大)

「マルチメディア通信と分散処理ワークショップ」

参加申込書

平成5年 月 日

標記ワークショップの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 37,000 円，登録会員 32,000 円，非会員 42,000 円，学生 25,000 円

*参加費には，資料代，宿泊費，懇親会費が含まれています。

○論文集のみ（4,000 円，送料込）

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____ 円を

a) 当日，会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____ 様

* 請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通，見積書 通，納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 ワークショップ係 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

.....
(楷書でハッキリ記入してください)

申込者
連絡先 〒 _____

機関名 _____

フリガナ
氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「連続セミナ '92」の参加について

—21 世紀に生き残るコンピューティングは何か?—

21 世紀のパソコンとワークステーションの現状と未来を予測するセミナを平成 3 年度に連続 6 回開催しました。内外の専門家を招いて、6 つの視点からこれからのパソコンとワークステーションを考えてゆく試みは参加者の方々をはじめ、広く一般の方々にも大変ご好評をいただけてきました。

平成 4 年度にはそれらのトピックスをうけて、「21 世紀に生き残るコンピューティングは何か」というテーマに発展させて連続セミナを開催しております。このセミナもあと 2 回を残すのみになりました。

そこで、本来は 6 回連続受講のセミナですが、特別に 1 回だけ受講したい方のために、6 回に限り、1 回だけの方の参加も認めることになりました。多数の方々の参加をお待ちしております。

日 時 第 6 回 1993 年 3 月 11 日 (木)
場 所 工学院大学 312 教室 (新宿区西新宿)
参 加 費 会員 25,000 円, 非会員 30,000 円, 学生 2,000 円 (各 1 回)
申込締切 1993 年 2 月 22 日 (月)
資 料 毎回録音テープをもとに議事録を作成し、次回のときに配布します。

〔第 6 回〕硬軟技術限界予測

—21 世紀の技術—

- 総括 石田 晴久 (東大)
- 硬い技術に関する予測 Dileep Bhandarkar (DEC)
- 軟らかな技術に関する予測 孫 正義 (ソフトバンク)
- パネルディスカッション コーディネータ: 石田 晴久 (東大)
- パネリスト 内田 俊一 (ICOT), 孫 正義 (ソフトバンク), 竹内 郁雄 (NTT),
西 和彦 (アスキー), 林 弘 (富士通研), Dileep Bhandarkar (DEC)

内容が多少変更される場合があります。ご了承ください。(英語の講演は同時通訳付きです)

「連続セミナー'92」

参加申込書

平成 年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（1回分）（該当するものを○でかこむ）

正会員、賛助会員 25,000円 非会員 30,000円 学生会員 2,000円

＊参加費には、議事録代が含まれています。

○議事録のみ（1回分）会員 25,000円 非会員 30,000円 _____冊

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____円を

a) 当日、会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____月 _____日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

第一勧業銀行新宿西口支店 2049562

三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

・送金人名義 _____様

＊請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通、見積書 通、納品書 通

請求先 _____

注）申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAXも可）

情報処理学会 連続セミナー係 160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

.....
(楷書でハッキリ記入してください)申込者
連絡先 〒 _____機関・
部課名 _____

フリガナ

氏 名 _____ 殿

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

「学会誌特集セミナ：ファジィ理論と情報処理」開催について

「ファジィブームはもはや去った」との声が聞かれるこの頃ではあるが、その一方で、製品にはもはやファジィの冠頭詞こそつけないが、その応用はますます広がりつつあるとの意見も強い。ファジィ制御は自動制御の分野での基本的的方法論としての地位を確立し、技術としての成熟期を迎えている。ファジィ理論の研究者は新しい応用対象として情報処理諸分野に従来より一層興味をもち、他方、この分野の研究者の側からも、ファジィ理論への期待はより高まってきている。

ファジィ理論が、多くの情報処理技術者に知られなければならないと考えられるのは、ファジィ集合論が数値処理と論理演算／推論の両方の特徴を備えた方法論としては最も整備された構成をもっているからである。同時に、ファジィ理論の情報処理への応用は、制御への応用とは根本的に異なる面をもっている。ファジィ制御の場合、従来の制御とファジィ制御とは全く異なる数学モデルにもとづいていたため、伝統的な制御とは方法論的な断絶があり、そのため、かえってファジィ制御の特徴と有用性が認識されるのが容易であった。これに対して、ファジィを用いた情報処理と用いない情報処理との差はより微妙で、その特徴を認識するには、理論の基本を十分把握している必要がある。

このセミナでは、多くの応用事例においてこの理論を役立てていくために、ファジィ理論の基礎をさまざまな面からとりあげて平易に解説し、その理解を深めることを目的とする。講師には、情報処理学会誌の特集「ファジィ理論と情報処理」の執筆者を迎え、学会誌では述べられなかった点や、最近の動向を加えて具体的かつ分かりやすく説明していただく。ファジィ理論について興味あるいは疑問をもつ多くの技術者や研究者が本セミナに参加されることをお勧めいたします。

日 時 平成 5 年 5 月 11 日 (火)
場 所 工学院大学 3 階 312 教室 (新宿区西新宿)
参 加 費 会員 15,000 円、非会員 20,000 円、学生 5,000 円
(資料として学会誌「情報処理」34 巻 1 月号をご持参ください。)
学会誌をお持ちでない方には、1,600 円でお頒けします。
申込締切 平成 5 年 5 月 19 日 (月)

~~~~~ プ ロ グ ラ ム ~~~~~

開会のあいさつ (10:00~10:10)	宮本 定明 (徳島大)
ファジィ理論の基礎概念と情報処理への応用 (10:10~11:10)	向殿 政男 (明 大)
ファジィ理論による自然言語の意味表現 (11:10~12:10)	馬野 元秀 (阪 大)
—— 昼食 (12:10~13:30) ——	
ファジィ理論による回帰モデル (13:30~14:30)	中森 義輝 (甲南大)
—— 休憩 (14:30~14:50) ——	
ファジィ理論とニューラルネットワーク (14:50~15:50)	林 勲 (松下電器)
ファジィ関係に関する諸問題 (15:50~16:50)	宮本 定明 (徳島大)

「学会誌特集セミナー：ファジィ理論と情報処理」

参 加 申 込 書

平成5年 月 日

標記セミナーの参加を下記によって申し込みます。

○参加費（該当するものを○でかこむ）

会員 15,000 円, 非会員 20,000 円, 学生 5,000 円

○送金方法（該当するものを○でかこむ）

合計 _____ 円を

a) 当日, 会場受付にて支払います。

b) 現金書留で _____ 月 _____ 日送金します。

c) 銀行振込（いずれも普通預金口座）で

1. 第一勧銀新宿西口支店 2049562

2. 三菱銀行虎ノ門公務部 0000608

名義人 東京都新宿区西新宿 1-24-1 社団法人 情報処理学会

送金人名義 _____ 様

*請求書類の必要な方はお申し出ください。

請求書 通, 見積書 通, 納品書 通

請求先 _____

注) 申込書は1枚1人としてください。（コピーで申し込むこと）

○申込先・送金先（FAX も可）

情報処理学会 シンポジウム係

160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27 F

Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534

（楷書でハッキリ記入してください）

申込者

連絡先 〒 _____

機関・

部課名 _____

フリガナ

氏 名 _____

殿 _____

Tel. _____ (ex. _____) FAX _____

一般情報教育公開シンポジウムのお知らせ

情報処理学会は文部省より「大学等における一般情報処理教育の在り方」に関する調査研究を委嘱され、大学関係者を中心に委員会を組織して研究を進めてまいりました。その結果がまとまりましたので、これをご報告すると同時に、広く関係者のご意見をいただきたく、公開シンポジウムを開くことにいたしました。多数の方の参加をお待ちしております。

日 時 1993年3月27日(土) 1時～5時30分
場 所 工学院大学312教室(3階)

~~~~~プ ロ グ ラ ム~~~~~

1:00～1:15	「一般情報処理教育の在り方」委員会報告	大岩 元(慶大)
1:15～1:45	リテラシー教育	河合 和久(豊橋技科大)
1:45～2:15	プログラミング教育	原田 悦子(法政大)
2:15～2:45	一般情報教育の基礎としての計算機科学	木村 泉(東工大)
	——休憩(2:45～3:00)——	
3:00～3:30	創造教育としての情報教育	武井 恵雄(東北大)
3:30～4:00	法学部における情報活用能力とその教育	加賀山 茂(阪大)
	——休憩(4:00～4:10)——	
4:10～5:30	全体討論	

参 加 費 無料(書面または FAX で申込んでください)
申 込 締 切 3月22日(先着300名)
申 込 先 情報処理学会シンポジウム係
160 東京都新宿区西新宿 1-24-1 エステック情報ビル 27F
Tel. 03 (5322) 3535 FAX 03 (5322) 3534



ADVANCE ANNOUNCEMENT

International Symposium on Autonomous Decentralized Systems

ISADS 93

March 30-April 1, 1993 • Hitachi System Plaza • Kawasaki, Japan

Symposium-at-a-Glance

	Room A	Room B	Room C
Tuesday, March 30	Opening Session Keynote Address: Japan's Contribution to the World Through Science and Technology Speaker: Hiroshi Inose (NCSIS and MITI, Japan)		
	A1: System Architecture Chair: E. Swartzlander (U. of Texas, USA)	B1: Object-Oriented Design Chair: R.C.T. Lai (ISPC, USA)	C1: Intelligent Distributed Computing Chair: L. Simoncini (U. of Pisa, Italy)
	Plenary Panel P1: The Requirements and Role of ADS in Real-World Applications Chair: H. Kopetz (T. U. Wien, Austria)		
	A2: Cooperative System Components I Chair: J. Pasquale (UCSD, USA)	B2: Programming Paradigms Chair: F.J. Wang (N. Chiao-Tung U., Taiwan)	C2: Robotics Chair: J.W. Cho (KAIST, Korea)
Wednesday, March 31	Keynote Address: The High Performance Computing and Communications Initiative in the U.S. Speaker: A. Nico Habermann (NSF, USA)		
	A3: Cooperative System Components II Chair: H. Wedde (Wayne State U., USA)	B3: Scheduling Chair: H. Tokuda (Keio U., Japan)	C3: Mobile Robots Chair: C.W. Wang (Beijing I.S.E., China)
	Plenary Panel P2: Are Autonomy and Predictability Antagonistic Concepts? Chair: G. Le Lann (INRIA, France)		
	A4: Computer Supported Cooperative Work Chair: J. Kann (Allen-Bradley, USA)	B4: Protocols Chair: D.J. Farber (U. of Penn., USA)	C4: Fault-Tolerant Decentralized Control Chair: R. Schlichting (U. of Arizona, USA)
Thursday, April 1	Keynote Address: In Search of Service Engineering: The RACE Experience Speaker: Mario Philip Campolargo (Commission of the European Communities)		
	A5: Decentralized Real-Time Systems Chair: E.D. Jensen (DEC, USA)	B5: Transportation Systems Chair: M. Ito (Nagoya U., Japan)	C5: Algorithms for Decentralized Applications Chair: D. Ferguson (IBM, USA)
	A6: Highly Available Systems Chair: T. Masuda (U. of Tokyo, Japan)	B6: Flexible Manufacturing Systems Chair: C.M. Park (PIST, Korea)	C6: Modeling Living Systems Chair: C. V. Ramamoorthy (UCB, USA)
	Plenary Panel P3: The Future of Autonomous Decentralized Systems Chair: D. Ferrari (UCB, USA)		

Symposium Location

ISADS 93 will be held in suburban Tokyo at the Hitachi System Plaza, Shinkawasaki 890 Kashimada, Saiwai, Kawasaki 211, Japan. The official language of the symposium will be English.

Plant Tours

Tours of the Kawasaki Steel Corporation and Central Japan Railway Company are scheduled for Friday, April 2.

For general information and an advance program, contact:

Stephen S. Yau, ISADS General Co-Chair
 Computer and Information Sciences Department
 301 Computer Science and Engineering Building
 University of Florida
 Gainesville, FL 32611-2024 USA
 Phone: 1-904-392-1211; Fax: 1-904-392-1220
 Email: yau@cis.ufl.edu

OR

Kinji Mori, ISADS Executive Secretary
 Systems Development Laboratory
 Hitachi, Ltd.
 1099 Ohzenji
 Asao, Kawasaki 215, Japan
 Phone: +81-44-966-9111; Fax: +81-44-966-6823
 Email: kmori@sdl.hitachi.co.jp

For registration information, contact:

Registration Office—ISADS 93
 c/o International Communications Specialists, Inc.
 Kasho Bldg.
 2-14-9 Nihombashi
 Chuo, Tokyo 103, Japan
 Phone: +81-3-3272-7981; Fax: +81-3-3273-2445

For hotel information, contact:

Japan Travel Bureau, Inc.—International Travel Division
 Convention Center (Ref. ED136003-007)
 1-13-1 Nihombashi
 Chuo, Tokyo 103, Japan
 Phone: +81-3-3276-7885; Fax: +81-3-3276-7806

Sponsored by:



IEEE Computer Society



The Institute of Electrical & Electronics Engineers, Inc.



Information Processing Society of Japan



The Society of Instrument and Control Engineers of Japan

In cooperation with:



International Federation for Information Processing



International Federation of Automatic Control

ISADS 93 Registration Information • Register Today!

To register, please complete this form and send with payment to:

Registration Office—ISADS 93, c/o International Communications Specialists, Inc., Kasho Bldg., 2-14-9 Nihombashi, Chuo, Tokyo 103, Japan
Phone: +81-3-3272-7981; Fax: +81-3-3273-2445

First Name _____ Middle Initial _____ Last Name _____

Mailing Address _____

City _____ State/Province _____

Country _____ Postal Code _____

Affiliation _____

Phone _____ Fax _____

Email _____

Member of: ☐ IEEE/CS ☐ IPSJ ☐ SICE Membership Number: _____

Do you have any special needs? _____

Accompanying Person: First Name _____ Last Name _____

Registration Fees

Please check the appropriate fee and complete the grand total amount in either Japanese ¥ or U.S. \$.

A. Registration

Advanced (Received by February 27, 1993)

Member ¥45,500 or \$350
Non-Member ¥58,500 or \$450
Student Member ¥19,500 or \$150

B. Plant Tour (optional)

Advanced (Received by February 27, 1993)

One Person ¥3,250 or \$25
Two Persons ¥6,500 or \$50

Late/On-site (Received after February 27, 1993)

Member ¥54,600 or \$420
Non-Member ¥68,300 or \$525
Student Member ¥19,500 or \$150

Late/On-site Registration (Received after February 27, 1993)

One Person ¥4,200 or \$32
Two Persons ¥8,350 or \$64

Grand Total (A+B): JP ¥ _____ (bank transfer or credit card) OR U.S. \$ _____ (bank transfer)

Payment Method

Bank drafts, money orders and personal checks are not accepted.

☐ Bank Transfer through the _____ to the account
name of: _____ your bank name

Account Name: ISADS
JP Yen Account No. 1092170; US\$ Account No. 1092189
Bank of Tokyo, Marunouchi Office, 1-4-2 Marunouchi,
Chiyoda Tokyo 100, Japan.
(please attach a copy of your Bank Transfer Order)

☐ Credit Card

The fee will be in JP Yen

☐ MasterCard ☐ VISA ☐ Diners Club ☐ American Express

Card Number _____

Exp. Date _____

Cardholder's Name _____

Signature _____

Meals:

☐ I request vegetarian meals

Members: Members of the IEEE, IEEE CS, IPSJ, or SICE may register by using the above member registration fee. The membership number of a sponsoring society must be given on the registration form.

Student Members: Student registration must attach a copy of IEEE Student Membership Card and a statement on your institution's stationery from your faculty advisor to certify that you are a full-time student at your institution.

Notes:

Advance registration is highly recommended to assure space availability and reduce the cost. The registration desk at the symposium site will be open March 30-April 1, 8:30 am-6:00 pm. All Symposium participants should proceed to the registration desk to pick up their badges, the local program and proceedings. Official symposium badges bearing the name and country of the participant will be issued to those who have registered and must be worn for admittance to all

symposium events. Badges will also be issued for registered accompanying persons and must be worn for admittance to appropriate events.

* The registration fee includes a copy of the proceedings, coffee and snacks, Tuesday night reception, Wednesday night party, and lunches. The student fee does not include the reception and party.

Payment:

Please do not combine registration fee and hotel deposit in the same payment.

Cancellations:

Registration and plant tour cancellations must be received in writing by the ISADS 93 Registration Office at the above address. If a refund is due, it will be made after the symposium:

Cancellations by February 27, 1993: 75% refund

Cancellations after February 27, 1993: No refund



CALL FOR PAPERS



JSSST International Symposium Series International Symposium on Object Technologies for Advanced Software

Kanazawa, Japan, November 4-6, 1993

Sponsored by: Japan Society for Software Science and Technology (JSSST)

Supported by: Japan Advanced Institute of Science and Technology (JAIST)

In cooperation with (requesting): ACM, IEEE COMPUTER SOCIETY, IEICE, IPSJ

会
告

COMMITTEES

Symposium Chair

Takuya KATAYAMA
JAIST

Symposium Series Committee Chair

Mario TOKORO
Keio University/Sony CSL

Program Committee Co-Chairs

Shojiro NISHIO
Osaka University

Aki YONEZAWA
University of Tokyo

Executive Committee Chair

Koichiro OCHIMIZU
JAIST

Finance Chair

Kokichi FUTATSUGI
ETL/JAIST

Publicity Chair

Takuo WATANABE
JAIST

Local Arrangement Chair

Yoichi SHINODA
JAIST

IMPORTANT DATES

Papers Due

March 25, 1993

Notification to Authors

June 20, 1993

Camera-Ready Copy Due

July 31, 1993

AIM

Object technologies are attracting much attention in diverse areas of research and development for advanced software. Object-oriented (OO) programming holds a great promise in reducing the complexity of large scale software development, and recent research in this field promises to open up a new paradigm for parallel and reflective computing. Object-oriented databases are expected to serve as a model for next generation database systems, by overcoming the limitations of conventional data models. Recently, research in software object bases is aimed at developing a uniform approach to the management of software artifacts produced in the software development process, such as specifications, manuals, programs, and test data, which traditionally were managed in a very ad-hoc and arbitrary manner.

Active research and experimentation on object technologies in these diverse areas suggest that there are some underlying, fundamental principles common to a wide range of software development activities. The first of the JSSST international series of symposia focuses on this topic. The aim of this symposium is to bring together leading researchers in the areas of object-oriented programming, object-oriented databases, and software object bases. We hope to promote an understanding of object technologies in a wider context and to make progress towards the goal of finding a better framework for future advanced software development.

SCOPE

The scope of this symposium includes advanced object technologies in programming, database systems, and software processes. Specific aspects of such object technologies include, but are not limited to, the theory and practice of:

- OO programming languages
- OO database management systems
- OO database programming languages
- Object management in software processes
- OO software development and environments
- Design and development of OO software systems
- Principles and design of software object bases
- OO reflective programming
- OO concurrent/parallel programming
- OO operating systems
- Active objects
- Constraint-based object models
- Supporting views in object base systems
- Version mechanisms in object base systems
- OO user interfaces

INSTRUCTIONS

Original papers on the above topics are invited. These should be no longer than 5,000 words in length (double-spaced type, in English, including abstract and keywords). The cover page should include authors' names, affiliations, complete postal as well as E-mail addresses, and telephone/facsimile numbers. Please submit five (5) copies by March 25, 1993 to:

Prof. Shojiro NISHIO
Department of Information Systems Engineering
Faculty of Engineering
Osaka University
Suite, Osaka 565, Japan
E-mail: nishio@ise.osaka-u.ac.jp
Facsimile: +81-6-875-0506

The Symposium Proceedings is planned to be published by Springer-Verlag in the series, Lecture Notes in Computer Science.

JSSST International Symposium Series
**International Symposium on
 Object Technologies for Advanced Software**
 Kanazawa, Japan, November 4-6, 1993

Program Committee Members

Tsuneo Aijisaka	Kyoto U.	Oscar Nierstrasz	U. of Geneva	Katsumi Tanaka	Kobe U.
Mehmet Aksit	U. of Twente	David Notkin	U. of Washington	Mario Tokoro	Keio U./Sony CSL
Malcolm Atkinson	U. of Glasgow	Koichiro Ochimizu	JAIST	Hideyuki Tokuda	Keio U./CMU
François Bancelhon	O ₂ Tech.	Atsushi Ohori	OKI	Katsuyasu Toyama	NTT
Klaus R. Dittrich	U. of Zurich	Junichi Rekimoto	NEC	Takuo Watanabe	JAIST
Kokichi Futatsugi	ETL/JAIST	Motoshi Saeki	Tokyo Inst. Tech.	Grant E. Weddell	U. of Waterloo
Yutaka Ishikawa	ETL	Edward Sciore	Boston College	Peter Wegner	Brown U.
Hyoung-Joo Kim	Seoul N. U.	Etsuya Shibayama	Ryukoku U.	Jack Wileden	Univ. of Mass.
Roger King	U. of Colorado	Shinji Shimojo	Osaka U.	Kazumasa Yokota	ICOT
Tok-Wang Ling	N. U. of Singapore	Yoichi Shinoda	JAIST	Masatoshi Yoshikawa	Kyoto Sangyo U.
Nazim Madhavji	McGill U.	Alan Snyder	Sun Microsystems	Roberto Zicari	J.W. Goethe U.
Ole L. Madsen	Aarhus U.	Ikuo Takeuchi	NTT		

All correspondence should be addressed to Local Arrangement Chair:

Prof. Yoichi SHINODA
 School of Information Science
 Japan Advanced Institute of Science and Technology (JAIST)
 15 Asahidai, Tatsunokuchi, Ishikawa 923-12, Japan
Phone: +81-761-51-1251
Fax: +81-761-51-1116
E-mail: jssst-symp93@jaist-east.ac.jp

平成5年度 会費および論文誌購読費の納入について

前号本欄でもお知らせいたしました、平成5年度会費および購読費の納付書(郵便振替用紙)を1月中旬に発送いたしました。会費および購読費は前納を原則としておりますので、3月末日までに率先してご納入くださいますようお願いいたします。

ただし、4年度請求額に対する不足額がありますと、3月号から送本を停止させていただきます。未納分につきましては、必ず**2月20日まで**にご納入ください。(会費未納者には9月号から送本を停止いたしております。)

また、「論文誌」(月刊)は有料頒布です。まだ購読されていない方は新年度から購読されることをお勧めいたします。新規購読希望の方はその旨を振替用紙裏面の通信欄にご記入いただくか、本欄添付の購読申込書によりお申込みください。

会費・購読費は前年度と同じで据え置きです。

会 費 正会員 9,600 円 学生会員 4,800 円

論文誌購読費(年間) 4,500 円

※「欧文誌」は「論文誌」と統合されたため、平成5年1月より休刊となりました。

(1) 自動振替納入利用の会員の方へ

会費および購読費を3月29日(月)に振替いたします。

振替金額は3月上旬にご通知いたしますので、預金残高をご確認いただき、振替額不足にならないようご留意ください。振替された場合には、預金通帳の摘要欄に「ダイヤモンドファクター」「コウザフリカエ」または「DF・ジョウショカイヒ」と印字されます。

なお、平成6年度会費から預金口座自動振替を希望する**正会員**(一括扱いの会員は除く)の方は、所定の預金口座振替依頼書(事務局会員係へお問合せください)によりお申込みください。

(2) 大学学部卒業予定の学生会員の会費

本年3月卒業予定の学生会員の方には、平成5年度会費は正会員(9,600円)として請求いたしました。ただし、大学院修士課程に進まれる方は、学生会員として継続できますので、会員番号を付し、大学院名・研究科名・専攻名・修了予定年月および学会誌の送本先を変更する場合はその宛先等をご連絡ください。

なお、1月上旬に「変更連絡届」用紙を送付いたしましたので、ご利用ください。

新年度にあたって (お願い)

新年度にあたって、つぎの点につきご確認いただき、ご協力のほどお願いいたします。

●退 会

書面(様式任意、はがき可)にてお申出ください。

なお、4年度会費が未納の場合には、昨年4月以降送本した学会誌を会費月割りで精算のうえ請求いたします。退会のお申出がありませんと、会費未納のため本学会から除名することがありますので、ご承知ください。

●学会誌の送本先変更

勤務先、自宅住所に変更のある方は、必ず所定の「変更連絡届」用紙(4月号、10月号に添付)にて会員番号を付し、早急にご連絡ください。

論文誌のご購読について

論文誌「情報処理学会論文誌」(月刊)は下記のとおり、有料頒布となっております。また、本年1月発行の第34巻1号から英文論文も掲載され、表紙デザインも一新するなど新しい装いの論文誌となりました。

11月号本欄でお知らせしたとおり、欧文誌「JIP」は Vol. 15 をもって休刊となりましたので、欧文誌の購読者はぜひ新論文誌をご購読くださいますようお願いいたします。

新規に購読を希望される方は下記の申込書(コピー可)にて、お申込みください。

	会 員	非 会 員
論文誌購読費(年間):	4,500 円	7,800 円

~~~~~

平成 年 月 日

## 論文誌購読申込書

○氏 名 \_\_\_\_\_

- ・会 員(正・学生・賛助) 会員 No. \_\_\_\_\_
- ・非会員

○送付先(会員の方は学会誌送付先に同じ)

〒 \_\_\_\_\_

Tel. \_\_\_\_\_

○バックナンバー希望: 会員の方のみ(当該年度の始めまで希望できます)

\_\_\_\_\_年 \_\_\_\_\_月より

○送金方法(該当に○を付ける)

- a. 現金持参
- b. 現金書留
- c. 郵便振替(東京 5-83484)
- d. 銀行振込(第一勧銀新宿西口支店 普通預金 2049562)  
(三菱銀行虎の門公務部 普通預金 0000608)

○送金年月日: 平成 年 月 日

○その他事務局への連絡事項

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_

購読員登録料の改定のお知らせ

昨年9月号および本年1月号本欄でお知らせしたとおり、本年1月から和文論文誌（情報処理学会論文誌）と英文論文誌（Journal of INFORMATION PROCESSING）を一本化して、和文・英文のいずれの論文も掲載する統合論文誌が新たな装いで発行されました。購読員にはこれまで、学会誌「情報処理」を含め3つの機関誌を配布しておりましたが、本年からは学会誌と論文誌の2つの機関誌を配布することになります。これにともない購読料および規程を下記のとおり改定いたしますのでお知らせします。

記

|          | (現行)     | (改定)     |
|----------|----------|----------|
| 国内購読員登録料 | 20,000 円 | 19,800 円 |
| 海外購読員登録料 | 3,000 円  | 4,500 円  |

購読員に関する規程

1. 本学会の機関誌の購読を希望するもので、下記の条件をみたすものは、本人の申出により、理事会の承認を得て、購読員として本学会に登録される。
- (1) 国内購読員
- ① 大学、教育機関、官公立の研究機関、図書館あるいはこれに準ずる団体
  - ② 本学会に既に賛助会員として入会している企業の事業所あるいは研究所
- (2) 海外購読員
- 論文誌のみの購読を希望する海外在住の個人あるいは団体
2. 購読員の登録料および配布資料はつぎのとおりとする。

|           | 登 録 料                         | 配 布 資 料       |
|-----------|-------------------------------|---------------|
| 国 内 購 読 員 | 19,800 円                      | すべての機関誌 注 1.) |
| 海 外 購 読 員 | 4,500 円<br>ただし sea mail 注 1.) | 論文誌のみ         |

- 注) 1. 学会誌「情報処理」(月刊)および論文誌(月刊)の2つの機関誌である。
2. air mail の場合には、実費を請求する。
3. 登録期間は1年を単位とする。
- 4.
5. (省 略)
- 6.

## 事務局との e-mail 試行開始のお知らせ

このほど学会事務局本部（新宿エステック情報ビル 27 階）に、WIDE インタネットのノード装置として働くワークステーション（SUN SPARC, 400 dpi のレーザプリンタ付）を設置いたしました。このノード装置は WIDE の東京 NOC（岩波書店）と専用線で接続されています。

現在、事務局では職員にメールの受信と送信の基本操作を教育中です。

そこで、会員の皆さまと事務局職員間の e-mail 試行を、下記により 2 月から開始いたしますので、どうぞ利用ください。

### 記

1. 学会ノードの名称および IP アドレス ipsj.or.jp
2. 事務局職員のメール・アドレス（当面、各係 1—2 名で試行開始）

| 登録者氏名 | 担当係名  | メール・アドレス            |
|-------|-------|---------------------|
| 飯塚 浩司 | 事務局長  | iizuka@ipsj.or.jp   |
| 土川 佳男 | 業務部長  | tsuchi@ipsj.or.jp   |
| 伊藤 早苗 | 会 員   | ito@ipsj.or.jp      |
| 老川ひろ子 | 経 理   | oikawa@ipsj.or.jp   |
| 西形 伸次 | 編 集   | nisikata@ipsj.or.jp |
| 津田かおり | 編 集   | tuda@ipsj.or.jp     |
| 島貫 英樹 | 大 会   | simanuki@ipsj.or.jp |
| 中田志麻子 | 研 究 会 | nakada@ipsj.or.jp   |
| 横山美和子 | 国 際   | yokoyama@ipsj.or.jp |

3. 試行開始時の機能

会員の皆さまからのメールを、そのままレーザプリンタで A 4 シートにプリント出力するように設定してあります。そこで、暫くの間、オフセット原紙とする原稿については、現行どおり郵送していただきますようお願いいたします。

4. 機能の拡大等

会告情報の掲示と申込、投稿の受け口、情報の提供、その他については、今後、順次進めていく計画です。なにぶん素人集団ですので、会員の皆さまのご指導、ご後援をよろしくお願い申しあげる次第です。

## 支部だより

### 関西支部 第3回 ソフトウェア研究会

日時 平成5年3月23日(火) 13:00~16:30

会場 (財)関西情報センター会議室(大阪市北区梅田 1-3-1-800, 大阪駅前第1ビル8階)

定員 約50名

資料代 600円

テーマ 「交通と情報システム」

(1) 大阪府警の旅行時間情報提供システム

金山 憲司(オムロン)

(2) 阪神高速の道路交通管制システム

柘植 章英(阪神高速道路公団)

(3) 近鉄の列車運行管理システム

福森 孝司(近鉄)

(4) ナビゲーションシステムの現状と将来

柴田 潤(住友電工)

(5) 総合討論

申込・問合せ先 530 大阪市北区梅田 1-3-1-800 大阪駅前第1ビル8階

(財)関西情報センター内 情報処理学会関西支部

Tel. 06 (346) 2543

## 本会協賛等の行事案内\*

### <国内会議>

第17回「産業用ロボット・フィルムフェスティバル」

平成5年2月26日(金)

大阪・コスモ証券

STEP セミナ「普及への第一歩を踏み出した STEP」

平成5年3月12日(金)

東京・中央大学

第8回 OA 全国総合大会

平成5年3月17日(水)~18日(木)

東京・科学技術館

シンポジウム「知的材料設計」

平成5年3月18日(木)

千葉・新日本製鉄

講習会「カオス理論の基礎と工学への応用」

平成5年4月13日(火)

東京・明治大学

第31回 講習会「ビジョンの基礎から応用」

平成5年5月14日(金)

東京・TEPIA ホール

Computer Graphics Osaka '93

平成5年6月9日(水)~12日(土)

マイドームおおさか, 他

第11回 光波センシング技術研究会

平成5年6月10日(木)~11日(金)

川崎市産業振興会館

平成5年度工学・工業教育に関する研究講演会

平成5年7月28日(水)

宮城県・東北学院大学

第36回 自動制御連合講演会

平成5年10月27日(水)~29日(金)

東京・早稲田大学

第11回 日本ロボット学会学術講演会

平成5年11月12日(金)~14日(日)

東京・電気通信大学

### <国際会議>

第5回 機械翻訳の理論的および方法論的問題に関する国際会議

1993年7月14日(水)~16日(金)

京都国際交流会館

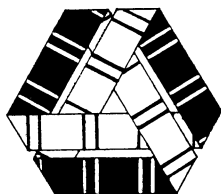
先進的ソフトウェアのためのオブジェクト技術に関する国際シンポジウム

1993年11月4日(水)~6日(金)

石川県・金沢

\* 詳細は本号会議案内欄参照

## 会議案内



各会議末のコードは、整理番号です（＊：本年既掲載分，＊＊：昨年既掲載分）。会議の詳細を知りたい方は、学会事務局へ切手 72 円を同封のうえ、請求ください。（国内連絡先が記載されている場合は除く。）

1. 開催日, 2. 場所, 3. 連絡, 問合せ先, 4. その他

## 国際会議

### Advanced Technology Short Courses on Satellite and Mobile Communications (001)

1. U.K.: April 19-23, 1993  
Spain: October 18-22, 1993
3. Mrs Tina Persson, Marketing Manager, CEI-Europe,  
PO Box 910, S-612 25 FINSPONG, Sweden. Phone  
+46-122-17570. Telefax +46-122-14347.

### TMI '93—第 5 回 機械翻訳の理論的および方法的問題に関する国際会議 (002)

1. 1993 年 7 月 14 日 (水)~16 日 (金)
2. 京都国際交流会館
3. TMI '93 事務局  
Tel. 03 (3494) 1869, FAX 03 (3495) 2995
4. 参加登録費: 20,000 円

### 4th Int'l. Conf. on Database and Expert Systems Applications (003)

1. September 6-8, 1993
2. Prague, Czechoslovakia
3. Prof. Dr. Vladimír MARIK  
Czech Technical University  
Faculty of Electrical Engineering, AI Group  
Technická 2 CS-166 27 Prague 6, Czechoslovakia  
Phone: (+42 2) 293107, FAX: (+42 2) 290159, e-mail: marik@lab.felk.cvut.cs
4. Papers due: February 28, 1993

### AQuIs '93—2nd Int'l. Conf. on Achieving Quality in Software (004)

1. October 18-20, 1993
2. Venice, Italy
3. Ms. Manuela Mennucci  
IEI-CNR  
Via S. Maria, 46  
56126 Pisa, Italy

Tel.: +39 50 593 433 or +39 50 593 478,  
Fax: +39 50 554 342, tlx: 590305 IEICNRI,  
e-mail: aquis@iei.pi.cnr.it

4. paper submission deadline: May 1, 1993

### 先進的ソフトウェアのためのオブジェクト技術に関する国際シンポジウム (005)

1. 1993 年 11 月 4 日 (水)~6 日 (金)
2. 金沢 (石川)
3. 主催: 日本ソフトウェア科学会  
論文送付先: Prof. Shojiro NISHIO  
Department of Information Systems Engineering  
Faculty of Engineering  
Osaka University  
Suita, Osaka 565, Japan  
E-mail: nishio@ise.osaka-u.ac.jp  
Facsimile: +81-6-875-0506

4. 論文締切: 1993 年 3 月 25 日

### 5th IEEE Int'l. Conf. on Tools with Artificial Intelligence (006)

1. 1993 年 11 月 8 日 (月)~11 日 (木)
2. Boston, U.S.A.
3. 国内連絡先: 211 川崎市中原区下小田中 2-12-5  
富士通(株) 複合交換機事業部 青山 幹雄  
Tel. 044 (754) 4111, E-mail: mikio@miki.nakahara.fujitsu.Co.jp
4. 論文投稿締切: 1993 年 4 月 15 日

### ISAAC '93—4th Annual Int'l. Symposium on Algorithms and Computation (007)

1. 1993 年 12 月 15 日 (水)~17 日 (金)
2. 香港
3. 国内連絡先: 東北大学工学部情報工学科 西関 隆夫  
Tel. 022 (222) 1800, FAX 022 (263) 9301
4. Extended Abstract 締切日: 1993 年 7 月 5 日

## 国内会議

### 第 17 回「産業用ロボット・フィルムフェスティバル」

1. 平成 5 年 2 月 26 日 (金)
2. コスモ証券ホール (大阪)
3. (社)日本産業用ロボット工業会  
Tel. 03 (3434) 2919, FAX 03 (3578) 1404

### 先進情報技術シンポジウム「ソフトウェア開発とグループウェア」

1. 1993 年 3 月 12 日 (金)
2. 中央大学駿河台記念館 (東京都千代田区)
3. (財)日本情報処理開発協会 開発研究室  
Tel. 03 (3432) 9391, FAX 03 (3431) 4324
4. 参加費: 15,450 円

### STEP セミナ「普及への第一歩を踏み出した STEP—リリース 1.0 の全貌の理解のために」

1. 1993 年 3 月 12 日 (金)
2. 中央大学駿河台記念館 (東京都千代田区)
3. (社)日本コンピュータ・グラフィックス協会  
Tel. 03 (3233) 3475, FAX 03 (3233) 3450
4. 参加費: 会員 15,000 円, 一般 20,000 円

## 第8回 OA 全国総合大会

1. 平成5年3月17日(水)~18日(木)
2. 科学技術館(東京都千代田区北ノ丸公園)
3. (社)日本オフィスオートメーション協会  
Tel. 03 (3434) 6677, FAX 03 (3459) 1704

## シンポジウム「知的材料設計」

1. 1993年3月18日(木)
2. 新日本製鉄(株)幕張研修センター(千葉市美浜区)
3. (社)日本金属学会  
Tel. 022 (223) 3685, FAX 022 (223) 6312
4. 参加費: 会員3,000円, 学生会員1,000円, 非会員7,000円

## 講習会「カオス理論の基礎と工学への応用」

1. 平成5年4月13日(火)
2. 明治大学和泉校舎(東京都杉並区永福)
3. 日本フェジ学会事務局  
Tel. 045 (212) 8253, FAX 045 (212) 8256
4. 参加費: 会員20,000円, 学生会員7,000円, 非会員30,000円

## 第31回 講習会「ビジョンの基礎から応用」

1. 1993年5月14日(金)
2. TEPIA ホール(東京・青山)
3. (社)日本ロボット学会  
Tel. 03 (3812) 7594, FAX 03 (3812) 4628
4. 参加費: 会員30,000円, 学生会員5,000円, 非会員40,000円

## 第20回 国際会議のための準備セミナー

1. 1993年5月22日(土)~23日(日)
2. 海外職業訓練センター研修施設(千葉市)
3. (社)日本工学会  
Tel. 03 (3475) 4621・5618, FAX 03 (3403) 1738
4. 参加費: 80,000円

## CG OSAKA '93—Computer Graphics Osaka '93

1. 1993年6月9日(水)~12日(土)
2. マイドームおおさか, 他
3. (社)日本能率協会 関西地域本部内 CG OSAKA 事務局  
Tel. 06 (261) 7151, FAX 06 (261) 5852

## 第11回 光波センシング技術研究会

1. 1993年6月10日(木)~11日(金)
2. 川崎市産業振興会館ホール
3. 光波センシング技術研究会事務局  
Tel. 03 (3433) 2543
4. 論文応募締切: 1993年3月12日(金)

## 平成5年度 工学・工業教育に関する研究講演会

1. 平成5年7月28日(水)
2. 東北学院大学工学部(宮城県多賀城市)
3. (社)日本工業教育協会  
Tel. 03 (3832) 9040, FAX 03 (3832) 9049
4. 講演申込締切: 平成5年3月13日(土)

## 第36回 自動制御連合講演会

1. 平成5年10月27日(水)~29日(金)
2. 早稲田大学国際会議場(東京都新宿区)
3. (社)計測自動制御学会  
Tel. 03 (3814) 4121, FAX 03 (3814) 4699

## 第11回 日本ロボット学会学術講演会

1. 1993年11月12日(金)~14日(日)
2. 電気通信大学(東京都調布市)
3. (社)日本ロボット学会  
Tel. 03 (3812) 7594, FAX 03 (3812) 4628
4. 講演申込締切: 1993年7月12日(月)

## 教官募集



### ○大学等情報関係教官募集

#### 広島大学工学部第二類(電気系)回路・システム工学講座

募集人員 助教授1名  
所 属 「電気機器工学」教育科目  
専門分野 電気エネルギー変換機器を中心として, 広くグラフィックス, CAD, コンピュータビジョンを含む  
応募資格 学位を有すること  
着任時期 平成5年10月1日(予定)  
提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 論文別刷りおよび推薦書. 自薦の場合は本人に関する所見を述べ得る人の氏名(2名).  
応募締切 平成5年6月30日  
問合せ先 広島大学工学部回路・システム工学講座主任 吉田典可  
Tel. 0824 (22) 7111 (内 3457)  
FAX 0824 (22) 7195

#### 奈良工業高等専門学校情報工学科

募集人員 教授, 助教授または講師2名  
専門分野 計算機ハードウェア・ソフトウェア, 情報処理工学などの情報工学分野  
応募資格 専門分野の研究業績があり(博士の学位取得者, または取得見込みの者が望ましい), 教育に熱意のある者.  
着任時期 平成5年4月1日以降のなるべく早い時期  
提出書類 履歴書, 研究業績一覧表, 主要論文別刷(コピー可), これまでの業務内容と着任後の教育・研究についての抱負(様式任意).  
応募締切 平成5年4月16日(金)(但し, 適任者が決定次第締め切ります)  
送 付 先 639-11 大和郡山矢田町 22  
奈良工業高等専門学校情報工学科 上田勝彦  
Tel. 07435 (2) 5213 (内 454)  
FAX 07435 (5) 1420  
そ の 他 本校には, 学位授与機構の認定を受けた専攻科(高専卒卒を入学資格とする2年制の課程)がありますので, その教育・研究指導(電子情報工学専攻)も担当していただきます.  
「教官応募書類」と朱書き書留.

# 雑 報



## ○電気通信フロンティア研究公募

郵政省は、平成2年度より情報通信技術の飛躍的進展が期待できる基礎的・先端的研究に関し、大学・民間等からの研究テーマに関する提案を広く求めることとした。

公募対象 将来的に情報通信の発展に資する基礎的・先端的研究、例えば以下のような分野のものも考えられるが、これに限らない。

- (1) 超高速通信技術：大容量・高速通信のための基礎技術
- (2) バイオ・知的通信技術：生体の有する高度な情報機能の解明・利用、知的ヒューマンインタフェース、高次知的機能の工学的実現等の情報通信基礎技術
- (3) 高機能ネットワーク技術：高度な通信処理・通信接続、多様化するニーズに知的で柔軟に対応できるネットワーク基礎技術

研究期間 3年以内とする。

研究委託額及び件数 単年度300万円程度またはそれ以下。  
平成5年度は4件程度を予定している。

公募締切 平成5年3月下旬を予定している。

問合せ先 100-90 千代田区霞が関 1-3-2

郵政省通信政策局 研究開発推進課 国際研究係  
斉田 Tel. 03 (3504) 4949

## ○財団法人 神奈川科学技術アカデミー平成5年度

### 研究集会開催助成募集

助成対象 平成5年度に、神奈川県内で開催される科学技術に関する学術的な国際研究集会および国内研究集会とします。

助成金額 1件当りの助成金額は国際研究集会200万円、国内研究集会100万円を限度とします。なお、採択件数は国際3件程度、国内前期・後期各3件程度とします。

応募締切 国際研究集会 平成5年2月26日(金) 必着  
国内研究集会・前期(平成5年4月1日から9月30日に開催されるもの) 平成5年2月26日(金) 必着  
・後期(平成5年10月1日から平成6年3月31日に開催されるもの) 平成5年8月中旬

問合せ先 213 川崎市高津区坂戸 3-2-1 KSP 西棟6F

申請用紙請求先 (財)神奈川科学技術アカデミー 学術交流部  
交流普及科  
Tel. 044 (819) 2032 FAX 044 (819) 2026



## 平成4年度役員

|         |                       |        |       |  |  |
|---------|-----------------------|--------|-------|--|--|
| 会 長     | 萩原 宏                  |        |       |  |  |
| 副 会 長   | 小林 亮                  | 相磯 秀夫  |       |  |  |
| 先 任 理 事 | 大野 洵郎                 | 斎藤 信男  | 佐藤 繁  |  |  |
|         | 鶴保 征城                 | 勅使河原可海 |       |  |  |
|         | 春名 公一                 | 松下 温   | 村岡 洋一 |  |  |
| 後 任 理 事 | 磯崎 澄                  | 稲垣 康善  | 斉藤 忠夫 |  |  |
|         | 土居 範久                 | 箱崎 勝也  | 八賀 明  |  |  |
|         | 林 弘                   | 坂 和磨   | 松永 伍生 |  |  |
| 監 事     | 山田 郁夫                 | 竹下 亨   |       |  |  |
| 支 部 長   | 手塚慶一 (関西), 奈良 久 (東北)  |        |       |  |  |
|         | 大槻説平 (九州), 山田 博 (東海)  |        |       |  |  |
|         | 伊達 惇 (北海道), 磯道義典 (中国) |        |       |  |  |
|         | 島田良作 (四国), 木村正行 (北陸)  |        |       |  |  |

## 学会誌編集委員会

|         |              |       |       |  |  |
|---------|--------------|-------|-------|--|--|
| 委 員 長   | 松下 温         |       |       |  |  |
| 副 委 員 長 | 箱崎 勝也        |       |       |  |  |
| 委 員     | (基礎・理論分野)    |       |       |  |  |
|         | 西野 哲朗        | 長尾 確  | 相田 仁  |  |  |
|         | 相場 亮         | 井宮 淳  | 岩野 和生 |  |  |
|         | 上田 和紀        | 宇田川佳久 | 大石 進一 |  |  |
|         | 太田 和夫        | 大竹 和雄 | 大野 和彦 |  |  |
|         | 栗田多喜夫        | 榊原 康文 | 篠原 靖志 |  |  |
|         | 島津 明         | 築添 明  | 土田 賢省 |  |  |
|         | 手塚 集         | 東条 敏  | 沼尾 正行 |  |  |
|         | 平川 秀樹        | 宮本 定明 | 村上 昌己 |  |  |
|         | 横内 寛文        | 渡辺 俊典 |       |  |  |
|         | (ソフトウェア分野)   |       |       |  |  |
|         | 川越 恭二        | 坂下 善彦 | 石川 博  |  |  |
|         | 岩崎 英哉        | 岩澤 京子 | 内平 直志 |  |  |
|         | 大澤 暁         | 岡田 康治 | 小野 諭  |  |  |
|         | 上林 憲行        | 北川 博之 | 小山田正史 |  |  |
|         | 関 俊文         | 瀧口 伸雄 | 瀧塚 孝志 |  |  |
|         | 田胡 和哉        | 谷口 秀夫 | 寺田 実  |  |  |
|         | 遠山 元道        | 深澤 良彰 | 本多 弘樹 |  |  |
|         | 松田 裕幸        | 真鍋 義文 | 宮崎 聡  |  |  |
|         | 吉田 和幸        |       |       |  |  |
|         | (ハードウェア分野)   |       |       |  |  |
|         | 笠原 博徳        | 中田登志之 | 天野 英晴 |  |  |
|         | 飯島 純一        | 板野 肯三 | 伊藤 徳義 |  |  |
|         | 北井 明         | 小倉 敏彦 | 北沢 寛徳 |  |  |
|         | 北嶋 弘行        | 久門 耕一 | 黒川 恭一 |  |  |
|         | 小池 汎平        | 斎藤 光男 | 榊 博史  |  |  |
|         | 佐藤 政生        | 佐藤洋一郎 | 清水 茂則 |  |  |
|         | 白男川幸郎        | 曾和 将容 | 瀧 和男  |  |  |
|         | 中村 宏         | 長井 光晴 | 西田 健次 |  |  |
|         | 速水 治夫        | 原田武之助 | 平田 圭二 |  |  |
|         | 藤田 昌宏        | 米田 友洋 | 和田 耕一 |  |  |
|         | (アプリケーション分野) |       |       |  |  |
|         | 宮崎 収兄        | 金子 俊一 | 稲岡 則子 |  |  |
|         | 上杉 利明        | 江原 暉将 | 大蒔 和仁 |  |  |
|         | 大山 敬三        | 岡田 謙一 | 勝岡 義博 |  |  |

|       |       |       |
|-------|-------|-------|
| 澤井 秀文 | 杉本 重雄 | 杉山 健司 |
| 宝木 和夫 | 田中 哲男 | 田中 衛  |
| 辻 秀一  | 鶴岡 邦敏 | 富井 規雄 |
| 富安信一郎 | 中野 深  | 沼尾 雅之 |
| 馬場 健  | 広瀬 正  | 深海 悟  |
| 古屋 清  | 宮本 義昭 | 森田 啓義 |
| 横矢 直和 | 吉野 利明 |       |

## 文献ニュース小委員会

|         |        |        |        |  |  |
|---------|--------|--------|--------|--|--|
| 委 員 長   | 岩野 和生  |        |        |  |  |
| 副 委 員 長 | 本多 弘樹  |        |        |  |  |
| 委 員     | 浦本 直彦  | 大輪 勤   | 小川 知也  |  |  |
| *地方在住委員 | 小野寺民也  | 甲斐 宗徳  | 小林 隆   |  |  |
|         | 鈴木 卓治  | 田中みどり  | 谷 聖一   |  |  |
|         | 堤 富士雄  | 坪井 俊明  | 鳥谷 憲司  |  |  |
|         | 中島 巳範  | 野尻 徹   | 野村 真吾  |  |  |
|         | 林 良彦   | 平澤 茂樹  | 広田源太郎  |  |  |
|         | 藤代 一成  | 堀川 隆   | 松本 一教  |  |  |
|         | 宮内 美樹  | 山口 義一  | 山下 義行  |  |  |
|         | 李 相喆   | 渡辺 美樹  | *佐伯 慎一 |  |  |
| *炭田 昌人  | *垂水 浩幸 | *竹澤 寿幸 |        |  |  |
| *乃万 司   | *藤井 茂樹 | *村上 昌己 |        |  |  |
| *横田 治夫  | *渡部 卓雄 |        |        |  |  |

## 論文誌編集委員会

|         |       |       |       |  |  |
|---------|-------|-------|-------|--|--|
| 委 員 長   | 村岡 洋一 |       |       |  |  |
| 副 委 員 長 | 土居 範久 |       |       |  |  |
| 委 員     | 有川 節夫 | 石畑 清  | 伊藤 深  |  |  |
|         | 岩間 一雄 | 魚田 勝臣 | 浮田 輝彦 |  |  |
|         | 大岩 元  | 大田 友一 | 勝野 裕文 |  |  |
|         | 菅 隆志  | 小池 誠彦 | 島崎 眞昭 |  |  |
|         | 白井 良明 | 白鳥 則郎 | 杉原 正顕 |  |  |
|         | 高橋 延匡 | 田中 讓  | 徳田 雄洋 |  |  |
|         | 富田 眞治 | 永田 守男 | 日高 達  |  |  |
|         | 益田 隆司 | 三浦 孝夫 | 三井 斌友 |  |  |
|         | 毛利 友治 | 山下 正秀 | 吉原 郁夫 |  |  |

## 欧文誌編集委員会

|                      |             |        |        |  |  |
|----------------------|-------------|--------|--------|--|--|
| 委 員 長                | 佐藤 繁        |        |        |  |  |
| 副 委 員 長              | 斉藤 忠夫       |        |        |  |  |
| 委 員                  | 浅野正一郎       | 伊藤 貴康  | 鶴飼 正二  |  |  |
| *地方在住委員              | 奥乃 博        | 小柳 義夫  | 上村 正務  |  |  |
| *アドバイザー・テクニカル・ライティング | 喜連川 優       | 紀 一誠   | 黒須 正明  |  |  |
|                      | 清水謙多郎       | 英俊 近山  | 西関 隆夫  |  |  |
|                      | 築山 俊史       | 戸川 忠秋  | 伏見 信也  |  |  |
|                      | 服部 彰        | 坂東 一夫  | 安村 通晃  |  |  |
|                      | 牧野 武則       | 松村 直樹  | *阿江 忠  |  |  |
|                      | 山本 彰        | 米崎 克夫  | *稲垣 康善 |  |  |
| *雨宮 真人               | *池田 健治      | *上林 弥彦 |        |  |  |
| *牛島 和夫               | *翁長 信樹      | *鳥居 宏次 |        |  |  |
| *佐藤 雅彦               | *都倉 衛市      |        |        |  |  |
| *鳥脇純一郎               | *宮本 衛市      |        |        |  |  |
| *M. J. マクドナルド        | *F. M. キッシュ |        |        |  |  |